

# 京都市内遺跡立会調査概報

平成15年度

2004年3月

京 都 市 文 化 市 民 局

## ごあいさつ

京都市は、山紫水明の恵まれた自然と世界に誇る貴重な文化遺産に満ちた日本文化の中核を担う都市であります。市内に存在する、古代から近世までの各時代を特徴付ける貴重な遺跡は、我が国の歴史や文化の成り立ちを知ることができる国民共有の貴重な財産であり、将来の文化の向上発展の基礎を成すものです。先人が残した埋蔵文化財を引き継いだ私たちは、これを後世に伝え残していく責務があります。

しかしながら、今日、埋蔵文化財包蔵地内において土木工事等による開発行為が、規制なく進められれば埋蔵文化財に重大な影響を及ぼしかねません。

本市では、こうした状況を踏まえ、「保存」と「開発」との調整をしっかりと行いながら、貴重な埋蔵文化財の適切な保護に努めております。さて、この度、平成15年度に本市が文化庁の国庫補助を得て実施した埋蔵文化財調査の結果をまとめた概要報告書を作成致しました。調査のうち、試掘調査は京都市埋蔵文化財調査センターが実施し、発掘調査及び立会調査は、財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託し、実施したものであります。

各調査の実施に当たり御理解と御協力を賜りました市民の皆様をはじめ、御指導・御助言を賜りました関係機関の方々に深く感謝申し上げますとともに、本報告書が京都市の歴史を知り、理解を深めるための一助として、京都を愛する多くの皆様のお役に立てば幸いに存じます。

平成16年3月

京都市文化市民局長

柴田重徳

## 例 言

- 1 本書は京都市文化市民局が財団法人京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成15年度の京都市内遺跡立会調査概要報告である。
- 2 本書の編集は近藤章子、吉本健吾が調整・作成実務を担当した。
- 3 各報告については文末に執筆者を記した。
- 4 写真撮影は村井伸也と幸明綾子が担当し、遺跡は調査担当者が行った。
- 5 遺物復元・彩色は村上勉、出水みゆきが担当した。
- 6 本書で用いた土壌色名は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版標準土色帖」に準じた。
- 7 個々の調査地での計測値は、宅地の場合は地表面を±0mとし、道路の場合には現行道路面を地表面(±0m)としている。
- 8 使用測地系は日本測地系(改正前)平面直角座標系Ⅶを使用した。
- 9 調査一覧表では各時代の「時代」は省略しており、調査日については簡略に記しているものもある。遺跡名は平安宮・平安京跡、長岡京跡については、官衙・条坊を優先した。
- 10 平成15年6月で「京都市遺跡地図」および「京都市遺跡地図台帳」の改訂があり、一部遺跡名については、新しい遺跡名で掲載した。
- 11 本書で使用した地図は京都市発行の都市計画基本図(縮尺1/2,500)を参考にし、作成したものである。

都市計画基本図は、縮尺を調整して以下のものを使用した。

平安宮・京跡 図版1～13 8,000分の1(衣笠山、船岡山、花園、聚楽廻、御所、山ノ内、壬生、三条大橋、西京極、島原、五条大橋、中河原、梅小路、京都駅)

その他の遺跡 図版14～26 10,000分の1(岩倉、西賀茂、幡枝、三宅八幡、鷹峯、植物園、松ヶ崎、北嵯峨、宇多野、衣笠山、船岡山、相国寺、田中、大覚寺、鳴滝、花園、聚楽廻、御所、吉田、太秦、三条大橋、岡崎、五条大橋、清水寺、中河原、梅小路、京都駅、今熊野、山科、小山、岡新田、中山、川島、吉祥院、上鳥羽、勸進橋、稻荷山、勸修寺、大原野、石見、寺戸、久世、城南宮、竹田、大亀谷、醍醐、向日町、久我、下鳥羽、丹波橋、桃山、長岡、羽東師、横大路、中書島、木幡池、向島、淀)

各報告の「調査位置図」5,000分の1

図1(三条大橋)

図5(壬生)

図9(島原)

図15(西京極)

図21(城南宮、下鳥羽)



## 本文目次

I 調査概要	1
II 平安京跡	5
1 平安京左京三条四坊八町、等持寺跡 (02HL296)	5
2 平安京左京四条二坊六町 (03HL82)	8
3 平安京左京六条二坊十町、烏丸綾小路遺跡 (03HL64)	10
4 平安京右京六条三坊七町、西院遺跡 (03HR39)	13
III その他の遺跡	17
1 鳥羽離宮跡 (02TB126)	17
調査一覧表	19
報告書抄録	36

## 図版目次

### 図版 1～26 調査位置図

図版 1	平安宮
図版 2	平安京左京北辺～三条 一・二坊
図版 3	平安京左京北辺～三条 三・四坊
図版 4	平安京左京 四～六条 一・二坊
図版 5	平安京左京 四～六条 三・四坊
図版 6	平安京左京 七～九条 一・二坊
図版 7	平安京左京 七～九条 三・四坊
図版 8	平安京右京北辺～三条 三・四坊
図版 9	平安京右京北辺～三条 一・二坊
図版 10	平安京右京 四～六条 三・四坊
図版 11	平安京右京 四～六条 一・二坊
図版 12	平安京右京 七～九条 三・四坊
図版 13	平安京右京 七～九条 一・二坊
図版 14	1 妙満寺裏庭窟跡・八幡古墳群 2 岩倉忠在地遺跡 3 河上瓦窯

跡 4 植物園北遺跡

- 図版15 1 北野遺跡・北野廃寺 2 松ヶ崎廃寺 3 半木町塚跡 4 上京遺跡・相国寺旧境内・室町殿跡（花の御所）
- 図版16 1 広沢池遺跡・太秦馬塚町遺跡・仁和寺院家跡 2 広沢西裏遺跡 3 梅津森原町遺跡 4 沖殿町遺跡 5 北白川廃寺
- 図版17 田中構え跡・北白川追分町遺跡・北白川追分町縄文遺跡・吉田二本松町遺跡・吉田上大路町遺跡・聖護院川原町遺跡・白河街区跡・岡崎遺跡・白河北殿跡・白河南殿跡・得長寿院跡・延勝寺跡・法勝寺跡
- 図版18 1 法成寺跡 2 中臣遺跡 3 法興院跡 4 坂尻須惠器窯跡 5 山科本願寺南殿跡 6 勸修寺境内
- 図版19 六波羅政庁跡・法住寺殿跡・方広寺跡・鳥部（辺）野
- 図版20 1 法性寺跡・伏見稲荷大社境内 2 唐橋遺跡 3 吉祥院西ノ内城跡 4 深草遺跡 5 淀城跡
- 図版21 鳥羽離宮跡・鳥羽遺跡
- 図版22・23 伏見城跡・黄金塚1号墳
- 図版24 長岡京跡・羽東師志水町遺跡・久我東町遺跡
- 図版25 1 上鳥羽遺跡 2 下三栖遺跡 3 おうせんどう廃寺 4 向島城跡 5 福西古墳群 6 榎原廃寺 7 上久世遺跡
- 図版26 1 長岡京跡・中久世遺跡・大藪遺跡 2 勝持寺古墳群・大原野神社遺跡

図版27・28 写真

- 図版27 遺物 平安京左京三条四坊八町、等持寺跡（02HL296）  
平安京右京六条三坊七町、西院遺跡（03H R 39）  
鳥羽離宮跡（02TB126）
- 図版28 遺物 1 平安京左京六条二坊十町、鳥丸綾小路遺跡（03HL64）  
2 平安京右京六条三坊七町（03H R 39）

## 挿 図 目 次

02HL296

図1	調査位置図	5
図2	遺構位置図	5
図3	遺構断面図	6
図4	出土遺物実測図	6

<b>03HL02</b>	
图 5 调查位置图	8
图 6 遗構位置图	9
图 7 遺構断面图	9
图 8 Na13地点落込断面	9
<b>03HL04</b>	
图 9 调查位置图	10
图10 遺構位置图	10
图11 遺構断面图	11
图12 No 2 地点土埃群	11
图13 No 3 地点土器出土状况	11
图14 出土遺物実測图	12
<b>03HR00</b>	
图15 调查位置图	13
图16 遺構位置图	13
图17 遺構断面图	14
图18 No 4 地点東西溝	14
图19 出土遺物実測图	15
图20 No 2 地点土器出土状况	15
<b>02TB126</b>	
图21 调查位置图	17
图22 柱状断面图	18
图23 出土遺物実測图	18

## 表 目 次

表 1 立会調査件数	1
表 2 年次別平安京路面・側溝検出件数	1
表 3 地区別平安京路面・側溝検出件数	1
表 4 路別平安京路面・側溝検出件数	2

## I 調査概要

本報告は京都市文化市民局が勸京都市埋蔵文化財研究所へ委託して実施した、文化庁国庫補助事業に伴う平成15年度の京都市内遺跡立会調査概要報告書である。本書では平成15年1月6日から3月31日までの平成14年度分と、同年4月1日から12月26日までの平成15年度分を合わせて報告する。調査件数は437件であり、平成14年度分が142件、平成15年度分が295件である。京都市内を便宜的に地区分けした調査件数は下表のとおりである（表1）。

地区	14年度1~3月	15年度1~12月	小計	地区	14年度1~3月	15年度1~12月	小計
平安宮(HQ)	30	62	92	洛東地区(RT)	22	23	45
平安京左京(HL)	27	79	106	鳥羽地区(TB)	13	27	40
平安京右京(HR)	19	37	56	伏見・醍醐地区(FD)	3	13	16
洛北地区(RH)	6	18	24	長岡京地区(NG)	3	4	7
太秦地区(UZ)	1	4	5	南・桂地区(MK)	2	6	8
北白川地区(KS)	16	22	38	計	142	295	437

表1 立会調査件数

京都市は、昭和52年から市街地をほぼ覆う平安京跡やその他の遺跡の小・中規模開発に伴う有効な埋蔵文化財調査方法として、立会調査を文化庁の国庫補助を得て実施し、多数の遺構・遺物を検出してきた。現在まで12,000件以上の立会調査を行ってきたが、その中で平安京の大路・小路の路面および側溝の検出は平安京復元の一助となっている。

1980年から今年までの調査で検出した平安時代から現代に至る大路・小路に関連する路面および側溝は、路面が222件、側溝が158件である（表2）。なお平安時代、鎌倉時代の遺構と思われるものは路面が31件、側溝が98件である。

平安京を左京と右京に分け検出件数（表3）をみると、左京の路面が175件、側溝が85件、右京の路面が47件、側溝が73件であった。右京に比べ左京の検出数が多いのは、立会件数に比例している部分が多いと思われる。しかし、左京では側溝の検出例より路面の検出

年	側溝	路面	年	側溝	路面
1980	9	3	1992	7	10
1981	3	8	1993	11	12
1982	9	8	1994	5	11
1983	8	1	1995	7	9
1984	4	4	1996	10	8
1985	4	10	1997	10	18
1986	10	15	1998	10	10
1987	6	13	1999	14	13
1988	3	4	2000	8	4
1989	3	7	2001	5	2
1990	6	20	2002	1	6
1991	4	21	2003	1	5
合 計				158	222

表2 年次別平安京路面・側溝検出件数

	右京側溝	右京路面	左京側溝	左京路面	側溝小計	路面小計
北辺～三条	25	18	28	73	53	91
四條～六條	29	10	40	58	69	68
七条～九条	19	19	17	44	36	63
合 計	73	47	85	175	158	222

表3 地区別平安京路面・側溝検出件数



東 西 路	側溝件数	路面件数	南 北 路	側溝件数	路面件数
一条大路	0	1	西京極大路	0	0
正親町小路	0	0	無差小路	1	0
土御門大路	2	1	山小路	0	0
鷹司小路	1	0	葛瀬小路	1	0
近衛大路	2	4	木辻大路	0	0
勘解由小路	1	0	惠止利小路	0	0
中御門大路	1	2	馬代小路	2	2
春日小路	1	3	宇多小路	7	2
大炊御門大路	3	4	道祖大路	13	4
冷泉小路	1	3	野寺小路	7	5
二条大路	3	16	西堀川小路	4	5
押小路	0	3	西鞆負小路	1	0
三条坊門小路	3	3	西大宮大路	10	0
柿小路	2	5	西櫛笥小路	0	1
三条大路	1	8	皇嘉門大路	0	1
六角小路	1	0	西坊城小路	2	0
四条坊門小路	1	0	朱雀大路	5	6
錦小路	3	1	坊城小路	4	2
四条大路	5	3	壬生大路	0	2
綾小路	0	1	櫛笥小路	2	2
五条坊門小路	2	1	大宮大路	1	7
高辻小路	2	1	猪隈小路	1	7
五条大路	5	12	堀川小路	0	7
樋口小路	3	2	油小路	5	7
六条坊門小路	5	2	西洞院大路	9	5
橘梅小路	0	0	町尻小路	2	3
六条大路	2	4	室町小路	0	2
左女牛小路	3	1	烏丸小路	1	0
七条坊門小路	1	6	東洞院大路	4	9
北小路	0	3	高倉小路	0	3
七条大路	4	17	万里小路	1	1
堀小路	3	3	富小路	3	11
八条坊門小路	0	0	東京極大路	6	20
梅小路	2	1	小 計	92	114
八条大路	2	4	合 計	158	234
針小路	1	2			
九条坊門小路	0	0			
信濃小路	0	0			
九条大路	0	3			
小 計	66	120			

路面の検出件数は222件であるが、交差点部分が12箇所含まれているので路別には234件となる

表 4 路別平安京路面・側溝検出件数

例が多く、右京はその数が逆に表れているのは、その後の都市発展が、左京と右京で違うことを表わしているものと思われる。左京では都市が途切れることなく発展を続けたため、路面と側溝は継承され、特に路面は何面も積み重ねられ地中に埋藏されていった。それに対して右京では、平安時代後期になると部分的には都市民の活動が盛んなところもみられるが、その大半が耕作地や荒地になり、都市として復活するのは明治以降のことである。かつての路面は耕作地として破壊され、むしろ深さをもつ側溝が遺構として残され、結果右京では側溝の検出例が多くなるのではないかと考えられる。

この24年間の立会調査で平安京の大路・小路の東西路39通の内34通、南北路33通の内29通に関連する路面および側溝を検出している（表4）。しかし、まだ立会調査で検出例のない大路・小路があるが、今後の立会調査によって路面および側溝などが検出できよう。

ここでは、本年の立会調査において知りえた新たな成果について以下概略を記す。なお今年6月からは『京都市遺跡地図』および『京都市遺跡地図台帳』が改訂され、新しい遺跡範囲で調査を行っている。大きな変化は洛北地区（RH）に上京遺跡が設定されたことである。南は一条通から北は上御霊通、西は智恵光院通から東は烏丸通に至る一帯が遺跡範囲となった。また太秦地区（UZ）では嵯峨折戸町遺跡、嵯峨北堀町遺跡、太秦馬塚町遺跡などの登録により太秦を中心として嵯峨野、鳴滝への土地が、ほぼ遺跡で網羅されるかたちとなった。今年の新遺跡の立会調査の件数はまだ少ないが、今後の調査結果に期待できる遺跡である。

平安宮（HQ）主水司（02HQ343）では東側の発掘調査で検出した古墳時代の土壌の一部を検出した。中和院（03HQ243）で緑釉瓦を含む包含層、平安時代前期の土器と凝灰岩片を含んだ土壌を検出した。平安時代の遺物包含層は御井（02HQ287）と中務省（03HQ16）で検出している。

平安京左京（HL）左京城の平安時代の遺構は、四条二坊六町（03HL82）で四条坊門小路側溝を検出したので報告する。四条一坊三町（03HL237）では、前期の土器を多量に含む池跡および錦小路の路面を検出した。ここは京都市埋蔵文化財調査センターが事前に試掘調査を行っており、試掘の成果と合わせて『京都市内遺跡試掘調査概報 平成15年度』に報告する。鎌倉時代の遺構は、六条二坊十町（03HL64）で包含層、土壌群を検出したので報告する。桃山時代から江戸時代は三条四坊八町（02HL296）で、土壌群を検出したので報告する。時期の確定はできないが路面は、三条四坊五町（03HL201）で三条大路、四条一坊八町（03HL229）で坊城小路、四条二坊十六町（02HL413）で西洞院大路、五条四坊十町（02HL411）で富小路を検出している。

平安京右京（HR）右京城では、六条三坊七町（03HR39）で平安時代前期の溝を検出したので報告する。他に平安時代の遺構は前期の包含層を七条三坊八町（02HR309）で検出した。また中期の包含層を三条四坊七町（03HR2）、六条二坊十町（03HR70）、七条二坊十町（03HR283）で検出した。

洛北地区（RH）河上瓦窯跡、松ヶ崎麿寺、上京遺跡、植物園北遺跡、相国寺旧境内、室町殿

跡(花の御所)、半木町家跡、北野遺跡、北野廃寺、妙満寺裏庭竈跡、岩倉忠在地遺跡、八幡古墳群隣接地の12箇所の遺跡で調査を行った。植物園北遺跡(02RH306)では弥生時代後期から古墳時代前期の包含層を検出した。北野廃寺(03RH192)では飛鳥時代の包含層を検出した。

太秦地区(UZ) 仁和寺院家跡、太秦馬塚町遺跡、広沢西裏遺跡、広沢池遺跡、梅津原町遺跡の5箇所の遺跡で調査を行ったが、今回は概要報告を行うような成果は得られなかった。

北白川地区(KS) 法成寺跡、田中構え跡、北白川廃寺、沖殿町遺跡、北白川追分町遺跡、北白川追分町縄文遺跡、吉田二本松町遺跡、吉田上大路町遺跡、聖護院川原町遺跡、白河街区跡(白河北殿、白河南殿、法勝寺跡、延勝寺跡、得長寿院跡)、岡崎遺跡の16箇所の遺跡で調査を行った。白河街区跡・岡崎遺跡(02KS329)では平安時代後期の包含層を検出した。

洛東地区(RT) 鳥部(辺)野、坂尻須恵器竈跡、方広寺跡、六波羅政庁跡、法住寺殿跡、法性寺跡、法興寺跡、中臣遺跡、勤修寺境内、山科本願寺南殿跡の10箇所の遺跡で調査を行った。鳥部(辺)野(02RT313)では、調査地が泉涌寺の境内にあたり、近世の鬼瓦や「空」「風」の梵字を陰刻した石製の五輪塔の宝珠受花部を発見した。

鳥羽地区(TB) 鳥羽離宮跡、鳥羽遺跡、上鳥羽遺跡、下三栖遺跡、唐橋遺跡、吉祥院西ノ内城跡、久我東町遺跡、羽東師志水町遺跡、淀城跡、深草遺跡の10箇所の遺跡で調査を行った。鳥羽離宮跡(02TB126)では、遺跡範囲外から古墳時代前期の土師器を検出したため報告する。

伏見・醍醐地区(FD) 伏見城跡、黄金塚1号墳、法性寺跡、伏見稻荷大社境内、おうせんどう廃寺隣接地、向島城跡の6箇所の遺跡で調査を行ったが、今回は概要報告を行うような成果は得られなかった。

長岡京地区(NG) 長岡京跡の左京三・四坊の北辺から五条の間で調査を行ったが、概要報告を行うような成果は得られなかった。

南・桂地区(MK) 上久世遺跡、中久世遺跡、大藪遺跡、樫原廃寺、福西古墳群、勝持寺古墳群、大原野神社遺跡の7箇所の遺跡でそれぞれ調査を行ったが、概要報告を行うような成果は得られなかった。  
(吉本健吾)

註1 『京都市遺跡地図』京都市文化市民局埋蔵文化財調査センター 2003年

註2 『京都市遺跡地図台帳』京都市文化市民局埋蔵文化財調査センター 2003年

註3 上村和直「平安宮西院跡・聚楽遺跡」『京都市内遺跡発掘調査概報 平成14年度』京都市文化市民局 2003年

## II 平安京跡

### 1 平安京左京三条四坊八町、等持寺跡 (02HL296)

#### 調査経過 (図1)

中央区柳馬場通二条下る等持寺町14・17番地のマンション建築に伴う調査である。条坊復元では左京三条四坊八町の北東に位置する。

八町は北を二条大路 (現二条通)、南を押小路 (現押小路通)、東を万里小路 (現柳馬場通)、西を高倉小路 (現高倉通) に囲まれ、平安時代末期には後白河法皇の側近であった権大納言源資賢の邸宅、鎌倉時代前期には、右少将藤原親平の母親や権大納言源通光の邸宅の存在が知られている。室町時代前期には、足利尊氏創建による等持寺 (足利家の菩提寺) の存在が知られているが、応仁・文明の乱によって廃寺となり洛北等持院に合併された。近世にはいと、長崎糸割符商人などの富裕商人が居住していたことが文献史料に記されている。

これまでの周辺の調査では、西側隣接地で古墳時代の包含層を検出<sup>※1</sup>、さらにその西側で平安時代後期・鎌倉時代前期の土壌<sup>※2</sup>、鎌倉時代の井戸などを確認している。

調査は2003年1月6日から17日まで行い、古墳時代の流れ堆積、鎌倉時代の土壌、室町時代前期・中期の包含層、桃山時代から江戸時代初期の土壌、江戸時代後期・末期の包含層を検出した。そのうち、桃山時代から江戸時代初期の土壌3基が顕著に検出できたので、これを概要報告する。

#### 遺構・遺物 (図版27、図2～4)

##### 土壌1

地表下-1.86mで幅2.46m、深さ1.08mの規模を測り、埋土は大きく4層に分層できる。出土遺物は桃山時代から江戸時代初期の土師器および施釉陶器である。

第1層からは土師器皿、志野鉢、唐津 (輪花皿・輪花大皿・碗・壺)、第2層からは唐津 (鉢・輪花皿・瓶)、箸が出土した。第3層からは器形不明土製品および炭が出土しているが、時期が

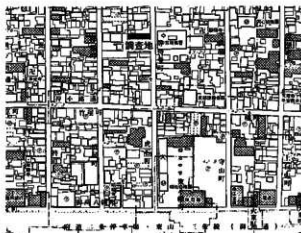


図1 調査位置図 (1:5,000)

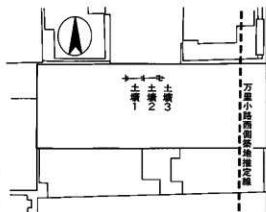


図2 遺構位置図 (1:500)

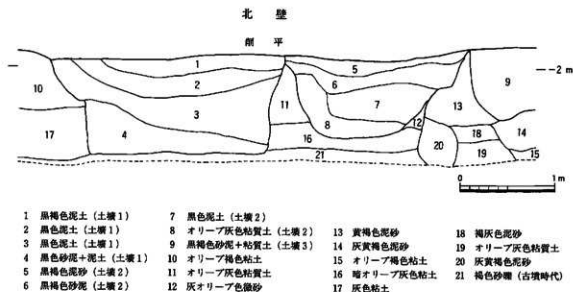


図3 遺構断面図 (1:40)

特定できる遺物はなかった。第4層からは土師器皿、天目茶碗、京焼系軟質陶器の小壺底部、箸が出土している。

#### 土壌2

地表下-1.89mで幅1.98m、深さ1.1mの規模を測り、埋土は4層に分層できる。出土遺物は江戸時代初期の施釉陶器が主体である。第1層からは瀬戸黒茶碗(口縁)、唐津(碗・皿・鉢・浅鉢・輪花大皿・瓶)、高取(輪花皿・水指)、第2層からは産地は不明であるが鉄釉陶器(盤もしくは播鉢)、加工石片が出土した。第3・4層からの遺物の出土はなかった。

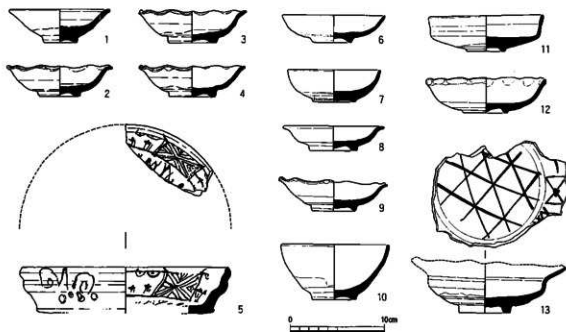


図4 出土遺物実測図 (1:4) 1~5・13:土壌1, 6~12:土壌2

### 土壌3

地表下-1.89mで実測可能範囲において、幅0.7m以上、深さ0.68mの規模を測るが、埋土の堆積層はみられなかった。江戸時代初期の土師器皿および施釉陶器皿が出土した。施釉陶器はいわゆる朝鮮唐津である。

### ま と め

土壌1・2の出土遺物は唐津系陶器が大半を占める。そのうち、重ね焼きの目跡には、胎土目および砂目の2種類を確認した。胎土目を用いる生産年代は1610～15年頃まで、砂目は1620年代以降最も多くなる傾向があり、共伴出土の土師器編年によると、これらの出土した唐津系陶器は17世紀前半に廃棄されたものと考えられる。

土壌はすでに重機で削平され、残部からの採集ではあったが唐津系陶器の出土量が多く、それらの高台周辺には竈道具の熔着およびそれを打ち欠いたとみられる製品が確認できた。また、高台部分にクロロ目が際立ち、使用による磨滅痕が認められなかったことなどから、選別によって不良品を廃棄した可能性が考えられる。

土壌1の第1層から出土した絵志野鉢、土壌2の第1層から出土した瀬戸黒茶碗の各破片については使用痕が認められ、桃山時代から江戸時代初期に展開した茶の湯の好尚が窺える。

なお鎌倉時代の土壌、室町時代前期・中期の包含層については、鎌倉時代の邸宅や室町時代の等持寺と明確に関連づけられるものはなかった。

(堀内寛昭)

註1 「調査一覧表」京都市内遺跡立会調査概報 平成10年度 京都市文化市民局 1999年

註2 「調査一覧表」京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和59年度 京都市文化観光局 1985年

## 2 平安京左京四条二坊六町 (03HL82)

### 調査経過 (図5)

中区区堀川通の御池通交差点から四条通交差点までの西側歩道における水道配管工事に伴う調査である。当地は平安京左京三条二坊五・六町、四条二坊五・六・七・八町の中央部を縦断する位置にあたり、三条二坊五町、四条二坊六・八町には平安時代に貴族の邸宅があったと文献に記載されている土地である。三条二坊六町の発掘調査では弥生時代から江戸時代にかけての多数の遺構を検出している。また平安時代から室町時代にかけての跡小路北側溝も検出している。今回の調査区間にも跡小路、三条大路、六角小路、四条坊門小路、錦小路、四条大路が推定地にあたる。

調査は2003年6月9日から8月4日まで行い、平安時代の遺物を含んだ四条坊門小路南側溝と考えられる落込を検出した。

### 遺構・遺物 (図6～8)

調査地は、堀川通の西側歩道部分にあたり、埋設管が多数配管されており、ほとんどの調査地点で土層は攪乱を受けており、遺構、遺物の検出はできなかった。

落込を検出したNo.13地点は、堀川通と蛸薬師通の交差点から南へ3.8mの地点に位置する。この地点は歩道中央に歩道橋の階段が設置され、この地点のみ水道配管の掘削部分が西に移動したため掘削壁面に残存状態の良好な土層を検出することができた。地表下-0.43mまでは盛土層、-0.43mから-0.72mまでは近世の包含層、-0.72m以下ではふい黄褐色砂泥層の地山となる。落込は地山をきって検出幅1.6m以上、深さ0.6mの南肩を検出した。肩部斜面には幅0.13m、深さ0.11mのピットがみられ、護岸の

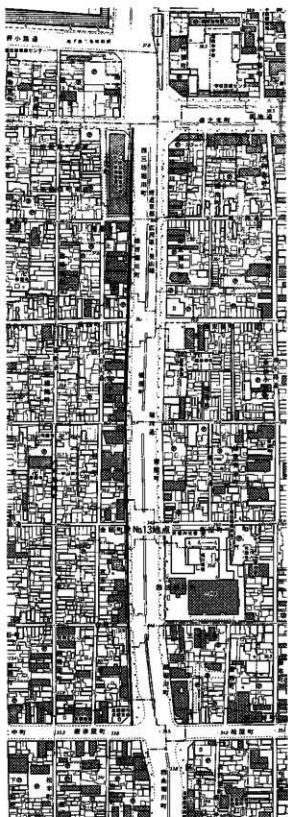


図5 調査位置図 (1:5,000)

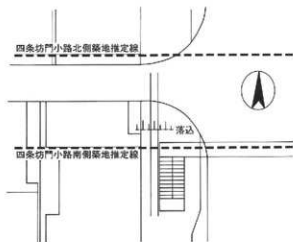


図6 遺構位置図 (1:500)

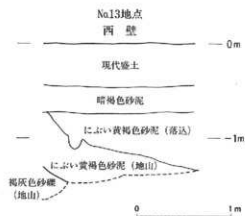


図7 遺構断面図 (1:40)

杭跡と考えられる。埋土は単一の粘質のにぶい黄褐色砂泥層で、平安時代の土師器皿、灰釉陶器、平瓦が出土している。

#### まとめ

No.13地点の落込の肩は、四条坊門小路南側築地推定線より北に約2.3mの地点に位置することと、溝埋土に平安時代の遺物が含まれるところから四条坊門小路南側溝の南肩と考えられる。立会調査においては四条坊門小路の側溝の検出例は初めてである。

(吉本健吾)

註1 丸川義広・辻裕司「左京三条二坊」『昭和56年度 京都市埋蔵文化財調査概要(発掘調査編)』京都市埋蔵文化財研究所 1983年



図8 No.13地点落込断面(東から)



### 3 平安京左京六条二坊十町、烏丸綾小路遺跡 (03HL64)

#### 調査経過 (図9)

調査は、下京区醍ヶ井通五条上る小泉町94番地での店舗建築工事に伴うものである。調査地は平安京左京六条二坊十町の北西付近にあり、弥生時代から古墳時代の集落遺跡である烏丸綾小路遺跡の南西部に位置する。この付近の調査では、十町北部で弥生時代と平安時代の土壌、調査地の南隣接地では古墳時代の遺物を含む流れ地積、東隣接地では平安時代後期の遺物包含層をいずれも立会調査で検出している。

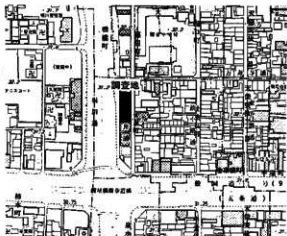


図9 調査位置図 (1:5,000)

調査は2003年5月26日から30日まで実施した。調査の結果、鎌倉時代の土壌2基・落込1基、時期不明の落込1基、平安・鎌倉時代の遺物包含層を検出した。

#### 遺構 (図10~13)

調査地の基本層序は、東側では、No2・3・5地点でみられるように、地表下-0.2~-0.3mの盛土直下で、遺物包含層や遺構を検出し、-0.3~-0.6mで黄褐色砂泥の地山となる。西側では、No4地点でみられるように、-0.3mで暗褐色砂礫の氾濫堆積層を検出し、工事掘削深の-1.3mまで続いているのを確認した。この地点では、遺構は検出できず、また地山を確認することもできなかった。

鎌倉時代の土壌は2基をNo2地点の地表下-0.25mで、南北に並列して検出した。北側の土壌(SK1)は幅0.65m、深さ0.27mを測り、地山を掘り込んで形成している。埋土からは土師器・瓦器が出土している。南側の土壌(SK2)はSK1に切られ、幅0.6m以上、深さ0.55mを測る。埋土からは土師器・瓦が出土している。さらにこの土壌に切られる形で落込(SX3)を検出したが、土師器小片が出土したのみで、時期は特定できなかった。

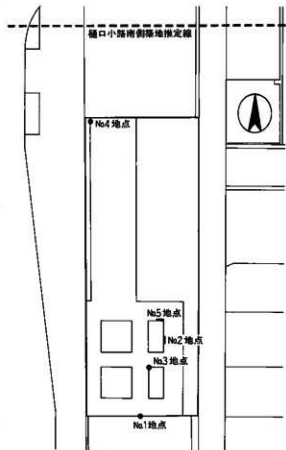


図10 遺構位置図 (1:500)

鎌倉時代の落込(SX4)は、No5地点の-0.5mで南北幅0.23m以上、東西幅0.4m以上、深さ

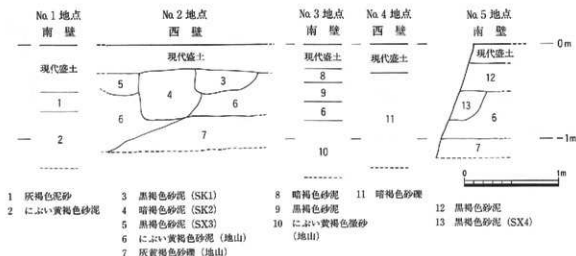


図11 遺構断面図 (1:40)

0.3mを測り、地山を掘り込んで形成している。埋土からは土師器が出土している。

遺物包含層は、No.3地点の-0.25mで時期不明の包含層と、-0.4mで鎌倉時代の包含層、No.5地点の-0.2mで鎌倉時代の包含層、No.1地点の-0.7mで平安時代末期の包含層を検出している。特にNo.3地点の鎌倉時代の包含層は、一箇所に集中して土器の包含が見られ、この地点に土壌等があった可能性もある。またNo.1地点で検出した平安時代末期の包含層も他の包含層に比べて約0.4m低いレベルで検出され、工事掘削深の-1.1mまで続いているので、これも土壌状の遺構の可能性がある。

#### 遺物 (図版28-1、図14)

遺物は大半が土器類で、磨減した丸瓦片が若干出土した。土師器皿が多数を占め、その他、瓦器、須恵器、輸入青磁片が出土した。図示した土器はNo.3地点の鎌倉時代の包含層からまとめて出土したものである。

土師器皿(1~9) 口径9.0cm以下(1~6)と11.0cm以上(7~9)の大小2種類に分類できる。口縁部はやや内弯気味に立ち上がるものと、屈曲して外反するもの



図12 No.2地点土壌群 (東から)



図13 No.3地点土器出土状況 (北から)

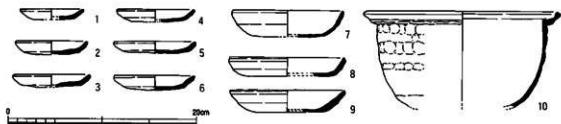


図14 出土遺物実測図(1:4)

がある。口縁端部は小型のものは外上方へ開き、大型のものは立ち上がる。底部外面は未調整で、内面はナデ、口縁部内外面は横ナデにより調整する。(1)の口縁部内外面には、煤が付着している。

瓦器鍋(10) 口縁部は屈曲して受け口となる。体部外面はオサエ、内面は横ハケ、口縁部内外面は横ナデにより調整する。

#### まとめ

今回の調査では、調査地の西側がすべて砂礫による氾濫堆積であったことを確認したが、このことは、調査地が堀川の東側にあたることから、この地点まで堀川の氾濫を受けていたものと考えられる。また調査地東側で遺構や包含層を検出したことは、平安時代末期から鎌倉時代にかけてこの地に生活空間が形成され、それが堀川の氾濫を受けずに現在まで残ったことを確認できた。しかし、隣接地で検出されている弥生時代や古墳時代の烏丸綾小路遺跡に関連する遺構は確認できなかった。

(近藤章子・吉本健吾)

註1 「調査一覧表」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和60年度』京都市文化観光局 1986年

註2 「調査一覧表」『京都市内遺跡立会調査概報 平成5年度』京都市文化観光局 1994年

註3 「調査一覧表」『京都市内遺跡試掘立会調査概報 昭和62年度』京都市文化観光局 1988年

#### 4 平安京右京六条三坊七町、西院遺跡 (03HR39)

##### 調査経過 (図15)

調査は、右京区西院西寿町での大型店舗建築工事に付随する、上下水道・ガス配管工事に伴うものである。当地は平安京右京六条三坊七町の東側中央部に位置する。2001年の調査地西側の大型店舗建築工事に伴う発掘調査では七・八町の調査を行い、七町部分では掘立柱建物10棟以上と平安時代前期の町を東西二分する道路とその側溝、町内を流れる河川、平安時代中期の木棺墓等を検出している。そのためこれらと同様の遺構が今回の調査でも検出されると考えられた。

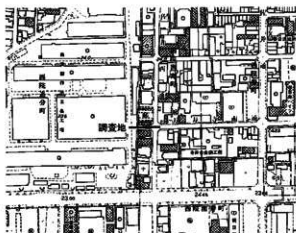


図15 調査位置図 (1:5,000)

調査は、下水道工事に伴うものを2003年5月12日から7月24日まで、ガス工事に伴うものを7月28日から8月5日まで、上水道工事に伴うものを8月11日から13日まで行い、調査の結果、平安時代前期の遺物を含む東西方向の溝を検出した。

##### 遺構 (図16~18)

調査地の基本層序は、No.4地点で地表下-0.5mで耕作土、-0.7mで平安時代前期の遺物を含む暗灰黄色砂泥層、-1.15m以下で黄褐色砂泥の地山となる。平安時代前期の溝はこの地山層を切って形成されていた。

溝はNo.4地点では地表下-1.15mで北層を、No.5地点では-1.12mで南層を検出した。いずれの地点も工事掘削幅が約1mと狭く同一地点で両層を検出することはできなかったため、溝幅は確

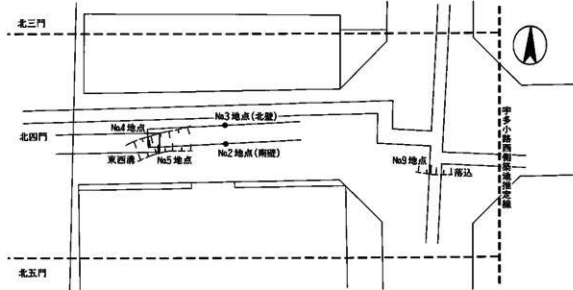


図16 遺構位置図 (1:250)

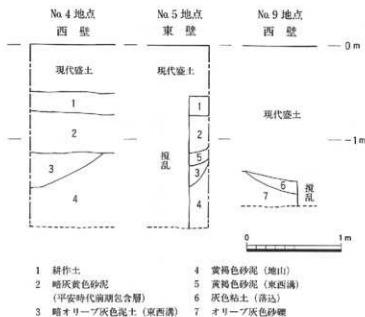


図17 遺構断面図 (1:40)

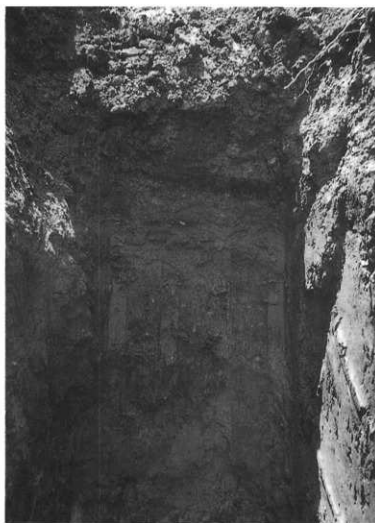


図18 No 4地点東西溝 (東から)

認できなかった。深さはNo 5地点で0.4mを測る。当初はNo 4地点の検出状況から東西方向に直進しているものと考えられたが、No 4地点よりさらに西へ工事掘削が進むと、溝が南に斜行していくことを確認した。溝の埋土は、No 4地点は単一層であるが、No 5地点では2層に分かれる。しかし、出土遺物に時期差はみられなかった。溝の埋土からは、平安時代前期の遺物が出土した。

東側ではNo 2・3地点で工事掘削深の-1.84mまで溝の堆積層と考えられる層を検出している。同一地点の下水道工事の北壁 (No 3地点) と南壁 (No 2地点) を実測したもので工事掘削幅は1.2mを測り、溝が幅広く深くなったものと考えられる。ただ埋土からは遺物は出土していない。さらに東では、No 9地点の-1.34mで湿地状堆積の落込の南肩を検出したが、遺物は出土せず、これが東西溝の延長にあたるかは不明である。

No 4地点で検出した平安時代前期の包含層はNo 2地点でも同様の遺物を伴い検出している。

#### 遺物 (図版27・28-2、図19)

出土した遺物は整理箱に1箱で、すべて土器類である。土器類は平安時代前期のもので、土師器皿・高杯・甕、黒色土器小

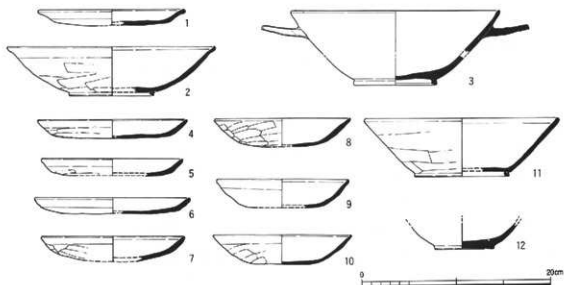


図19 出土遺物実測図(1:4)

片、須恵器壺・甕・壺、緑釉陶器碗、灰釉陶器碗などがある。

#### No.2・4地点包含層出土遺物(1~3)

土師器皿A(1) 口径15.6cm、器高1.6cm。口縁部は底部から緩やかに開き、端部は肥厚する。底部外面はオサエ、その他はナデ調整による。胎土は雲母・砂粒を含む。

土師器杯B(2) 口径22.0cm、器高6.2cm。断面三角形の貼り付け高台が付く。器壁は全体に磨滅しているが、底部・体部外面にヘラケズリが確認できる。口縁部と内面はナデ調整による。

灰釉陶器双耳碗(3) 口径22.3cm、復元器高7.8cm。体部上位両側に耳が付く。耳部はヘラ調整、口縁端部はナデ、底部外面は糸切り後、ヘラケズリ、ナデ調整を施し、高台を貼り付ける。底部外面にトチンの痕跡がある。一部に降灰釉が認められるが施釉の痕跡はなく、いわゆる原始灰釉陶器とみられる。また通常の双耳碗より大型で、形式はK14新段階(K5)である。猿投産である。

#### 溝出土遺物(4~12)

土師器皿A(4~6) 口径15.0~16.4cm、器高1.5~2.0cm。口縁部は底部から緩やかに屈曲して開く。5・6は磨滅が著しく調整は不明瞭であるが、5の外面にヘラケズリは認められる。4は底部内面オサエ後ナデ、外面はオサエ、口縁部外面はヘラケズリ、その他はヨコナデにより調整されている。胎土は砂粒を含み、4はさらに雲母が含ま



図20 No.2地点土器出土状況(北から)

れる。

土師器杯A(7) 口径15.2cm、器高2.7cm。体部は底部から緩やかに屈曲して内弯気味に開く。底部はオサエ、口縁部内外面はナデ、体部外面はヘラケズリによる調整を施す。胎土は砂粒、雲母を含む。

土師器杯B(11) 口径20.6cm、器高6.5cm。平らな底部に断面台形の高台が付く。体部は底部から屈曲して外上方に開く。口縁端部はわずかに肥厚する。体部・口縁部外面はヘラケズリ、他はナデ調整を施す。胎土は砂粒が多い。

土師器碗(8-10) 口径14.0~14.6cm、器高2.9~3.1cm。体部は底部から緩やかに屈曲して内弯気味に開く。8・10は底部・体部外面にヘラケズリ、他はナデ調整を施す。9は体部外面に指圧痕が残り、その他はナデ調整を施す。8の口縁部内外面に煤が付着する。

緑釉陶器碗(12) 底部から体部の一部のみ残存しており、削り出し高台をもつ。底部外面はヘラケズリ後、ナデ調整、その他はナデにより調整している。釉薬は剥離している。

#### ま と め

今回の調査では、平安時代前期の遺物を含む東西方向の溝を検出した。調査地西側の発掘調査では、今回と同じ七町にあたる部分で、この東西溝とはほぼ同時期である1町を東西二分する道路の側溝を検出している。今回の溝は東一行の北四門を南北に二分する地点にあたるが、溝は南に斜行し東西に直行しておらず、区画に関するものではないと考えられる。むしろ「9世紀前後に開削し、すぐに廃絶され9世紀前半に宅地内から道路部分へと川の付け替えが行われた<sup>註1</sup>」七町内東側を流れていた川と同じ様な性格の遺構と考えられる。

(近藤章子・吉本健吾)

註1 『平安京右京六条三坊七・八町 発掘調査現地説明会資料』勸古代学協會・古代学研究所 2001年

註2 調査中、集中豪雨となり実測等の記録作業はできなかった

### Ⅲ その他の遺跡

#### 1 鳥羽離宮跡 (02TB126)

##### 調査経過 (図21)

伏見区竹田西内畑町、竹田浄菩提院町、中島北ノ口町で行われた、阪神高速道路公団による京都市道高速道路2号線(油小路線)の橋脚工事に伴う立会調査である。当工事に関しては遺跡範囲内の橋脚は事前の発掘調査が行われ、未調査部分の工事掘削地点については立会調査を行った。

当地の下層には、平安時代後期に鳥羽離宮が造営され、縄文時代から飛鳥時代の集落跡がある鳥羽遺跡が広範に広がっている。さらにその南方には、弥生時代から古墳時代の集落跡である下鳥羽遺跡がある。前述の発掘調査では平安時代前期から鎌倉時代にかけての石敷き地業、溝、柱穴、土壇などが出土している。

調査は2002年7月23日に橋脚No.30地点、11月8日に橋脚No.42地点、11月21日と2003年1月14日に橋脚No.43地点を行い、橋脚No.30地点では平安時代後期の包含層を、橋脚No.43地点では古墳時代前期の遺物包含層を検出した。

##### 遺構・遺物 (図版27、図22・23)

鳥羽離宮跡の遺跡範囲内である橋脚No.30地点の層位は、地表下-1.5mまで現代盛土層、-1.5mから-2.0mまで耕作土層、-2.0mから-2.3mまで平安時代後期の遺物包含層、-2.3m以下が砂礫層となる。平安時代後期の包含層からは土師器、瓦が出土している。

下鳥羽遺跡の隣接地である橋脚No.43地点は調査時には地表下-1.0mまで削平されており、層位は-1.5m以下は粘土層と粗砂層の互層が続い

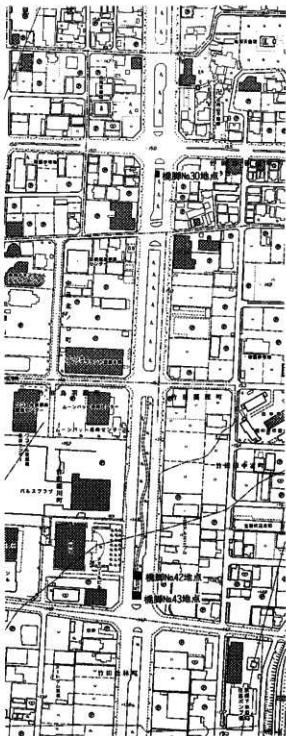


図21 調査位置図 (1:5,000)



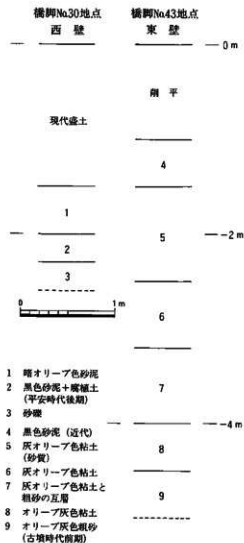


図22 柱状断面図 (1:40)

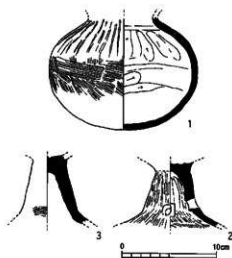


図23 出土遺物実測図 (1:4)

注1 尾藤徳行・吉村正親・南出俊彦『鳥羽離宮跡・下鳥羽遺跡 京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告2001-8』京都市埋蔵文化財研究所 2002年

ている。古墳時代前期の土器は-4.5mのオリーブ褐色粗砂層から出土している。

また橋脚No.43地点の北側の橋脚No.42地点からは、工事掘削中に地表下約-6mの砂層の地点から古墳時代前期の土師器壺が工事関係者によって発見されている。

橋脚No.42地点で出土した土師器壺(1)は、口縁部は欠損している。体部は丸いがやや扁平で、底部は丸底である。内面は上位は下から上方への縦方向の指ナデ、中位は横方向のヘラケズリ、下部から底部は粗いナデ・指オサエによる調整を施す。外面は上部は横ナデ後、縦方向のミガキ、体部はハケ目、下部から底部はナデ調整を施す。外面の底部から中位に煤が付着しており、また内面に焦げつきが認められるため、煮沸に用いられたと思われる。

橋脚No.43地点出土の土師器高杯(2・3)は、共に脚柱部のみである。2は外面は粗い縦方向のハケ目、内面は上部は強い縦方向のナデ、下部はハケ目、杯部との境に指オサエ痕が残る。胎土はやや粗く、砂粒を多く含み、焼成は良好である。3は外面は横ナデで整形後、丁寧な横方向のヘラミガキを施す。内面は横ナデ後、縦方向にもナデ調整を施す。胎土は精良で石粒を含み、焼成は良好である。

#### まとめ

今回、古墳時代の遺物が出土した地点(橋脚No.42・43)は、鳥羽離宮跡から南東に約200m、下鳥羽遺跡からは北東に約50mの位置にあたり、これらの遺跡範囲外である。下鳥羽遺跡が弥生時代から古墳時代の集落跡であることを考えれば、下鳥羽遺跡の範囲が北東へ広がることも考慮に入れることができる。この地点で遺物が出土したことは、同時期の集落の展開を考えるうえで貴重な成果を得ることができた。

(近藤章子・吉本健吾)

# 調査一覧表

I 2003年 1～3月期 (平成14年度)

## 平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大 藏 省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125	3/10	巡回時、工事終了。	HQ353	1
大 藏 省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125	3/10	巡回時、工事終了。	HQ354	1
大 藏 省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125-10	3/10	巡回時、工事終了。	HQ355	1
大 藏 省	上・仁和寺街道六軒町西入四番町125-9	3/18	巡回時、工事終了。	HQ388	1
右 近 衛 府	上・下長者町通七本松西入鳳壇町232-4	2/20	-0.3mまで現代盛土。	HQ335	1
家 松 原	上・七本松道下長者町下る三番町273	2/14～19	-1.8m以下、黄褐色粘質土の地山。	HQ326	1
妻 松 原	上・下長者通七本松西入下る鳳壇町247-23-6	3/11	巡回時、工事終了。	HQ365	1
内 裏	上・下立先通千本東入中藤町490-96-30-54の一部	2/4	-0.8m以下、および黄褐色砂泥の地山。	HQ319	1
内 裏	上・下立先通千本東入中藤町490-54の一部	2/4	-0.8m以下、および黄褐色砂泥の地山。	HQ320	1
真 言 院	中・聚楽園中町一聚楽園西町 地先	3/3	-1.0mまで現代盛土。	HQ344	1
真 言 院	中・聚楽園西町163-99	3/11	巡回時、工事終了。	HQ356	1
真 言 院	中・聚楽園西町163-63-66-67の一部	3/11	巡回時、工事終了。	HQ357	1
真 言 院	中・聚楽園西町163-63-66-67の一部	3/11	巡回時、工事終了。	HQ358	1
真 言 院	中・聚楽園西町163-63-66-67の一部	3/11	巡回時、工事終了。	HQ359	1
中 和 院	上・下立先通千本西入階瀬町472	3/18	巡回時、工事終了。	HQ387	1
中 和 院	上・下立先通千本東入田中町418-3-4	3/14	巡回時、工事終了。	HQ379	1
流 酒 司	中・聚楽園松下町12	3/24	-0.9m、江戸末期の包含層。	HQ398	1
典 葉 寮	中・西ノ京車坂町1-7	3/11	巡回時、工事終了。	HQ360	1
典 葉 寮	中・西ノ京車坂町1-9	3/12	巡回時、工事終了。	HQ372	1
豊 楽 院	中・聚楽園中町56-23、西町136-12	02/7/30～03/1/7	-0.15mまで現代盛土。	HQ141	1
朝 堂 院	中・聚楽園東町14-19	3/4-5	-1.2mまで現代盛土。	HQ346	1
朝 堂 院	中・聚楽園東町25の一部	3/12	巡回時、工事終了。	HQ369	1
主 水 司	上・丸太町通智恵光院西入中藤町930、千本通二条下る東入主税町948-1	2/27, 3/4-6	No 1 : -0.87m、時期不明の包含層 (土師器、瓦)。No 3 : -0.88m、褐色粘土の地山を切って時期不明のビット・落込。落込は東隣の発掘調査で検出した古墳時代の溝の延長。	HQ343	1
大 膳 職	上・日暮通丸太町下る南伊勢園町760-8-9	3/12	巡回時、工事終了。	HQ370	1
大 炊 司	中・丸太町通黒門東入鳳壇町535-18	3/13	巡回時、工事終了。	HQ374	1
御 井	中・左馬寮町6-24他 地内	02/12/13～03/1/22	No 2 : -0.8m、平安の包含層 (平瓦)。-1.5m以下、灰オリーブ色粘土の地山。No 3 : -0.5m以下、オリーブ黄色砂泥の地山。	HQ287	1
御 井	中・西ノ京車坂町11-3	3/12	巡回時、工事終了。	HQ371	1
神 祇 官	中・二条城町541	02/10/16, 03/3/28	-0.85m、鎌倉中～後期の包含層 (土師器・埴輪・甕)。	HQ410	1
式 部 省	中・西ノ京式部町1 朱雀高校	3/13	巡回時、工事終了。	HQ373	1
料 事	中・西ノ京内堀町15-1	3/14	巡回時、工事終了。	HQ378	1

## 平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺四坊 五町	上・京都御苑3 饗宴場跡地	02/4/18～03/10/16	-0.15m以下、江戸の包含層・盛土層。	HL024	3
二条三坊十六町	上・京都御苑3-1	02/11/5～03/2/13	No 3 : -0.66m、江戸後期の包含層。No 4 : -0.15m、江戸末期の包含層。-0.7m、江戸後期の包含層。	HL246	3
三条一坊 二町	中・西ノ京職司町35	3/17～20-25	-0.24mで江戸後期の包含層。-0.94m以下、褐色砂泥の地山。	HL384	2
三条三坊 五町	中・室町通錦小路下る役行者町371, 373	3/24～4/3	-1.55m、鎌倉の包含層 (土師器)。-1.8m、時期不明の包含層 (土師器瓦、輸入白磁碗)。-2.05m、平安後期の包含層 (土師器瓦)。	HL401	3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
三条三坊十六町	中・東洞院通二条下る瓦之町381	02/12/20-03/2/3	-0.5m、近世の包含層。	HL294	3
三条四坊一町	中・東洞院通二条下る瓦之町380-1他	3/24-26	-1.8m、桃山の包含層(土師器Ⅱ)。	HL297	3
三条四坊七町	中・御地通御馬場西入御所八幡町229	02/12/20-03/1/17	-0.7m、江戸後期の包含層。-1.93m、鎌倉中期の包含層(土師器Ⅱ)。	HL293	3
三条四坊八町	中・柳馬場通二条下る等持寺町14-17	1/6-17	桃山-江戸初期の土壌を3基、本報告5ページ、	HL296	3
三条四坊十一町	中・懸屋町通錦小路上る中白山町277	1/22	-0.34mまで現代盛土。	HL304	3
四条二坊十六町	中・西洞院通二条下る柳水町74他	3/31-5/2	№2: -0.41-0.63m、整地層。-0.48m、鎌倉に用いた遺物が出土、関連施設の整地層か。№3: -0.82m、-1.24m、時期不明の包含層(上層土師器、下層瓦)。-1.15m、-1.24m、路面状堆積。西洞院大池。	HL413	4
四条三坊七町	中・繪巻師道通町西入錦町206-2	3/19-26	-2.2mまで既存基礎。発掘調査済地点。	HL393	5
四条四坊二町	中・六角通高倉西入勝屋町174	3/24-26	-0.5m、江戸末期の包含層。	HL402	5
五条二坊五町	下・堀川通南側、四条通-松原通 地内	1/27-4/3	-0.9m以下、オリーブ褐色細砂の地山。	HL311	4
五条二坊五町	下・堀川通高辻下る高辻堀川町365	3/27-28-31	-0.9m、時期不明の包含層(土師器Ⅱ、須恵器鉢)。	HL406	4
五条三坊六町	下・新町通仏光寺下る岩戸山町439、441、高辻通室町西入繁昌町291	3/26-28	-0.84m、近世の包含層。	HL407	5
五条四坊九町	下・綾小路通越屋町西入堀屋町59他	2/3-5/7	-0.98m、室町中期の包含層(土師器Ⅱ、須恵器鉢、灰輪陶器盤、瓦器大鉢、輸入白磁瓶、青磁碗)。-1.6m、鎌倉-室町の包含層(白磁碗)。	HL317	5
五条四坊十町	下・懸屋町通錦小路下る後屋町291	3/31-5/21	-1.2m、鎌倉の包含層(輸入白磁、土師器小片)。	HL411	5
六条三坊十二町	下・烏丸通五条下る大坂町396-3	3/10-26	-1.45m、路面状堆積。畜小路にある。	HL352	5
六条四坊十五町	下・寺町通五条上る西橋詰町777-1-2	2/25、3/4	-1.35m、近世の包含層。	HL359	5
七条一坊十三町	下・大宮通七条上る御器屋町56他8筆	1/14-16	-1.0m、花籃地蔵。	HL298	6
七条三坊十四町	下・不明門通下津敷町上る卓屋町60	2/17-20	-0.8m、江戸の包含層。 №2: -0.98m、平安の包含層(土師器Ⅱ、須恵器鉢)。№3: -1.12m、時期不明の包含層(平瓦)。	HL331	7
七条四坊五町	下・七条通四町東入材木町474、505-9	3/12-14	-0.25mまで現代盛土。	HL366	7
八条三坊四町	南・西九条院町1-2	02/11/5-03/2/17	-0.85m、炭ガラ層。	HL249	7
八条四坊九町	下・上之町1-46-1-23の一部 地内	2/4	-0.65mまで現代盛土。	HL321	7
九条二坊九町	下・北不堂町-南区西九条鳥居口町地先(一般国道1号)	02/12/2-03/11/26	№6: -3.8m以下、褐色砂礫の地山。№8: -3.83m以下、褐色砂礫の地山。	HL276	6
九条三坊一町	南・西九条院町26-1	3/18-27	№1・2: -1.42m、-1.15m、江戸時代末期の花籃堆積。№7・8・11: -1.2mで鎌倉中期の包含層(土師器)。	HL389	7
九条四坊三町	南・東九条南山王町5-1他	2/19	-0.25mまで現代盛土。	HL332	7

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
北辺二坊六町	北・大將軍川端町112	2/24-3/4	-0.65m、江戸後期の包含層。	HR336	9
一条西坊四町	右・花園藪ノ下町、花園木辻南町、花園中御門町(JR山陰線・花園駅-内町駅間)	02/12/18-03/1/6	巡回時、工事終了。	HR290	8
三条一坊一町	中・西ノ京屋々地町17-1	2/4-5	-0.3mまで現代盛土。	HR318	9
三条一坊十五町	中・西ノ京邸坂町16-9-10	3/26-4/3	№3: -0.26m、および黄褐色砂泥の地山を切って室町の母込(土師器小片、瓦質土器火舎)。	HR405	9
三条四坊十町	右・山ノ内御堂殿町36-1	1/24-2/4	№4: -0.72mで鎌倉の土壌(土師器、白磁)。	HR305	8
三条四坊十三町	右・山ノ内五反田町地先	3/14-17-24-31、4/3、6/9	-1.4m以下、浅黄色砂泥の地山。 №1: -1.7m、時期不明の包含層(土師器、須恵器小片)。-2.5m以下、灰色砂泥の地山。	HR350	8
三条四坊十三町	右・太秦安井西沢町-山ノ内西八反田町地内	3/31-4/14	-2.4m以下、褐色灰色砂礫の地山。	HR409	8
四条四坊十五町	右・山ノ内西沢町-山ノ内池反町 地内	3/31-10/15	巡回時、工事終了。	HR408	10
五条二坊十一町	右・西院平町20	2/24-27	-0.2m、時期不明の浅れ地蔵。	HR337	11

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
五条二坊十二町	右・西大路通西側、松井通～万寿寺通地内	1/27～3/14	-1.08m以下、暗灰色微砂の地山。	HR310	11
五条三坊 四町	右・西院矢掛町5 西院中学校	1/22	-0.3m。近世の包含層。	HR303	10
六条一坊 三町	下・中堂寺南町 地先（一般国道9号）	02/12/9～03/1/21	-0.97m。暗オリーブ色砂泥の地山を切って平安の落込（土師器）。	HR281	11
六条一坊 三町	下・中堂寺南町126	3/11	巡回時、工事終了。	HR368	11
六条一坊十四町	下・中堂寺黒田町 地先（一般国道9号）	02/12/11～03/1/29	No 6：-1.2m。黄褐色砂泥の地山を切って時期不明の落込。No 7：-0.92m。江戸の包含層。-1.13m以下、灰褐色砂泥の地山。	HR285	11
七条二坊 五町	下・西七条北西野町38-4	3/24	巡回時、工事終了。	HR403	13
七条二坊十一町	下・西七条北輪田町8	3/11-13	-0.83m以下、灰色砂礫の流れ堆積。	HR361	13
七条三坊 八町	右・西京極北庄境町72	1/27～30	No 1：-0.9m。平安前期の包含層（土師器皿・甕、須恵器鉢・甕、黒色土器杯）。-1.18m以下、褐色砂泥の地山。No 2：-1.05m。平安の包含層（須恵器甕）。	HR309	12
七条三坊 八町	右・西京極北庄境町73	2/14-17	-0.75m。時期不明の埋地状堆積。	HR327	12
八条三坊 十町	右・西京極下沢町6の一部、6-2の一部	3/18-20-24	-0.56m以下、にじい黄褐色砂泥の地山。	HR390	12

### 洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
八幡古墳群東接地区	左・岩倉幡杖町	02/11/15～03/10/20	No 1：-0.94m。江戸中期の包含層（土師器）。No 3：-0.88m。鎌倉の包含層（土師器）。No 25：-1.32mで灰色微砂の地山を切って落込。	RH261	14-1
岩倉志在池遺跡	左・岩倉志在池 地内	02/7/9～03/10/9	-1.8m以下、暗オリーブ色砂礫の地山。	RH115	14-2
植物園北遺跡	左・松ヶ崎芝本町17	1/24-27	-0.2m。室町後期の包含層（土師器皿）。-0.6m。弥生後期～古墳前期の包含層（土師器高杯、甕）。	RH306	14-4
北野遺跡	上・今出川通西側、天神川～今小路通 地内	02/11/5～03/2/24	No 1：-1.28m。近世の包含層。No 2：-0.27m。時期不明の路面。No 4：-1.02m以下、黄褐色微砂の地山。No 10：-0.5m以下、褐色砂泥の地山。	RH245	15-1
北野遺跡・北野麩寺	北・北野下白梅町54-8	3/11	巡回時、工事終了。	RH362	15-1
相国寺旧境内・重町殿跡（花の御所）	上・今出川町他 地内	02/11/6～03/5/2	No 10：-1.33m。室町前期の包含層（土師器皿）。No 11：-1.4m。室町前期の包含層（土師器皿）。No 13：-0.4m。室町の包含層（青磁碗、甕）。No 20：-1.0m。室町後期の包含層（土師器皿）。-1.22mで鎌倉の落込（土師器皿、平瓦）。	RH250	15-4

### 太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
仁和寺院家跡	右・場院町ヶ瀬町他 地内	3/17～7/10	No 22：-0.58m。時期不明の包含層（土師器皿）。No 16：-0.13～-0.37m。5層の路面。No 17：-0.14～-0.48mで4層の路面。3層までは現代層。No 5：-0.7m以下、明褐色砂泥の地山。No 7：-0.15m以下、オリーブ褐色砂泥の地山。No 13：-0.5m以下、褐色砂泥の地山。No 26：-1.105m以下、にじい黄褐色砂泥の地山。	UZ381	16-1

## 北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
北白川麻寺	左・北白川山田町 地先	2/14・17	-0.55m、白濁の包含層(平瓦)。	KS328	16-5
北白川鹿寺	左・北白川大堂町57	2/17-18	-1.2m、オリーブ黒色泥砂層を抽出。	KS330	16-5
北白川鹿寺	左・北白川大堂町35-1	3/18	巡回時、工事終了。	KS391	16-5
北白川造方遺跡	左・北白川東高町28-1・2	1/27-28	-1.5mまで白川の泥濘堆積の砂層。	KS308	17
曾田二子松町遺跡	左・曾田下大路町地	02/11/7~9/11	No 1 :-0.56m、江戸の包含層。-0.71m、時期不明の包含層(土器)。No 2 :-0.46m、踏面状堆積。-0.57m、時期不明の包含層(土器)。	KS252	17
曾田上大路町遺跡			-0.77m以下、黄褐色粗砂の地山。No 3 :-0.47mで近世の包含層。No 4 :-5.15m以下、にぶい黄褐色粗砂の地山。		
白河街区跡	左・岡崎北御所町20-10	1/6,2/3	-0.95mまで現代盛土。	KS316	17
白河街区跡	左・仁王門通新東洞院西入新東洞院町252 新制小学校	3/11~18	-0.48m、江戸末期の包含層。-0.55m、土筋の整地層。	KS364	17
白河北殿跡	左・丸太町通南側、川端通~東大路通 地内	02/10/15~03/2/12	-0.55m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	KS223	17
白河北殿跡	左・聖徳院蓮華園町、川原町、東竹屋町、 東丸太町 地内	02/11/8~03/2/17	No 2 :-0.6m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。 No 7 :-1.3m、乱れ堆積。	KS255	17
白河北殿跡	左・聖徳院蓮華園町 地先	1/20~2/3	巡回時、工事終了。	KS300	17
岡崎遺跡	左・東大路通二条下る北門前町482.482-1、 483-2	1/21	-0.2mまで現代盛土。	KS301	17
岡崎遺跡	左・岡崎天王町27の一部	2/10-12	-0.33mまで現代盛土。	KS324	17
白河街区跡					
岡崎遺跡	左・岡崎天王町51-5,27の一部	2/10-12	-0.47mまで現代盛土。	KS325	17
岡崎遺跡	左・岡崎円勝寺町 地内	2/17~5/14	No 1 :-0.73m、平安後期の包含層(土師器瓦)。 No 2 :-0.86m以下、にぶい黄褐色粗砂の地山。 No 3 :-0.55m、時期不明の踏面。-1.3m以下、にぶい黄褐色粗砂の地山。	KS329	17
岡崎遺跡	左・岡崎徳成町28	3/11	巡回時、工事終了。	KS363	17
得長寺院跡					
法成寺跡	上・寺町通清和院口上る二丁目北之辺町 397,397-4	3/20	-0.45mまで現代盛土。	KS396	18-1

## 洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
中區遺跡	山・勧修寺東栗栖野町42 勧修小学校	1/16~2/24	-0.5m、時期不明の包含層。-1.1m以下、にぶい黄褐色砂泥の地山。	RT299	18-2
中區遺跡	山・勧修寺西栗栖野町269の一部	1/28	-0.2mまで現代盛土。	RT312	18-2
中區遺跡	山・栗栖野町ノ木町21-1	1/29-30	-0.12m、江戸末期~近代の包含層(無輪飾形陶器)。	RT314	18-2
中區遺跡	山・勧修寺西栗栖野町269の一部	2/19	掘削工事を行わず。	RT333	18-2
中區遺跡	山・勧修寺西栗栖野町269の一部	2/19-21	-0.5mまで現代盛土。	RT334	18-2
中區遺跡	山・御辻番所ヶ口町37-7	2/27,3/3	-0.4mまで現代盛土。	RT342	18-2
中區遺跡	山・栗栖野町ノ木町19-6	3/3~5	No 1 :-0.4m、時期不明の溝。No 2 :-0.26m、時期不明の溝。No 3 :-0.42mで、黄褐色砂泥の地山を切って時期不明の土層。	RT345	18-2
中區遺跡	山・栗栖野町ノ木町	3/5	-0.6m、時期不明の土境。	RT347	18-2
中區遺跡	山・栗栖野町ノ木町	3/5	-0.57m、時期不明の耕作溝。	RT348	18-2
中區遺跡	山・栗栖野町ノ木町	3/6	-0.68m以下、黄褐色砂泥の地山。	RT349	18-2
中區遺跡	山・東野舞台町96-8-9	3/17	-0.2mまで現代盛土。	RT382	18-2
中區遺跡	山・東野舞台町96-2	3/17	巡回時、工事終了。	RT383	18-2
中區遺跡	山・東野舞台町95-5の一部	3/19	巡回時、工事終了。	RT394	18-2
中區遺跡	山・勧修寺東栗栖野町	3/19	巡回時、工事終了。	RT395	18-2
坂尻原車庫跡	山・上花山桜谷、旭山、花ノ岡	1/27~2/21	-1.0m以下、黄褐色砂泥の地山。	RT307	18-4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
法住寺殿跡・ 六波羅政庁跡・ 方広寺跡	東・本郷町527 京都国立博物館	02/12/19-03/2/19	-1.3mまで現代盛土。	RT291	19
鳥部(辺)野	東・泉涌寺山内町27	1/29-10/8	No.1-3: -0.1~0.3m, 旧跡面, No.1~7- 11~13: -0.3~0.9m, 近世の包含層(積瓦)。 No.13: 近世の瓦瓦を採取, No.9: 石製の五輪塔 の宝珠受花部出土。「空」風の梵字捺刷を確 認, No.14: -0.2m, 時期不明の土壌, No.20: -0.17 m, 時期不明の土壌, 埋土内で0.07~0.28mの 炭化層を確認, No.26・34: 長さ0.5m, 高さ約0.1 mの加工石が出土, 近世の土壌, No.29: -0.3m で明褐色砂泥の地山を切って近世以降の瓦層。	RT313	19
鳥部(辺)野	東・今泉野泉山町	3/25-4/4	-0.54mまで現代盛土。	RT404	19
六波羅政庁跡	東・相町五条下る二丁目大坂町372.375	3/12-26	No.1: -0.32mと-0.4mで泥炭堆積層, No.2: - 1.5mで泥炭堆積層。	RT367	19
法性寺跡	東・本町十五丁目 東福寺山内	1/22-24	-0.26m, 江戸後期の土壌(平瓦・積瓦)。	RT302	20-1
法性寺跡	伏・深草正覚町(鳥羽街道団地)	3/17-5/6	-1.0m以下, 黒褐色砂泥の地山。	RT380	20-1
法性寺跡	伏・深草正覚町(鳥羽街道団地)	3/18-5/6	-1.05m, 埋地堆積。	RT392	20-1

#### 鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No.	図版
唐橋遺跡	南・唐橋大宮瓦町22 洛陽工業高校	2/5-14	-0.4m, 時期不明の泥れ堆積。	TB322	20-2
吉祥院西ノ内城跡	南・吉祥院西ノ内町4の一部	3/31, 4/1	-0.15m, 時期不明の包含層(土師器)。	TB412	20-3
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町, 竹田浄菩提院町, 中島北ノ口町	02/7/23-03/1/14	No.1: -2.0m, 平安後期の包含層(土師器, 瓦)。 No.2: -6.0m砂泥より庄内期の墓, No.3: -5.0 m, オリーブ灰色粗砂から庄内-右衛門の高杯 脚部, 本報告17ページ。	TB126	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-5-6-7	1/30-2/6	-0.65m, 室町中期の包含層(土師器, 輸入 白磁器), -1.15m, 鎌倉の包含層(土師器, 灰 輪陶器)。	TB315	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-5	3/17	-0.2mまで現代盛土。	TB385	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-6	3/17	-0.35mまで現代盛土。	TB386	21
鳥羽遺跡	伏・竹田西内畑町158-3	3/10	巡回時, 工事終了。	TB351	21
鳥羽離宮跡	伏・下鳥羽離宮町70	3/13	巡回時, 工事終了。	TB375	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田東小屋ノ内町7	3/13-17-18	-0.77m, 平安末期の包含層(土師器)。	TB376	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田東小屋ノ内町7	3/13	巡回時, 工事終了。	TB377	21
鳥羽遺跡	伏・竹田西内畑町158-2	3/24-26	-0.3mまで現代盛土。	TB399	21
鳥羽離宮跡	伏・竹田西内畑町158-1	3/24-26	-0.25mまで現代盛土。	TB400	21
下三橋遺跡	伏・糞大路下三橋辻堂町~下三橋里ノ内町	02/10/3-03/5/16	-4.0mまで現代覆土。	TB213	25-2

伏見・醍醐地区 (FD)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
伏見城跡	伏・藤草大亀谷六科町～藤草大亀谷万結敷町地先	1/10・21	-1.34m以下、明褐色砂泥の地山。	FD297	23
伏見城跡 おしやんとり屋跡	伏・藤草大亀谷万結敷町170-27 伏・藤草榎ヶ谷町	2/28, 3/4 02/11/13～03/3/24	-0.48m以下、にふい褐色砂泥の地山。 No 2 : -1.0m、湿地位堆積。No 3 : -1.6m以下、 オリープ褐色粗砂の地山。No 4 : -0.63m以下、 灰色粘土の地山。No 6 : -1.15m以下、黄褐色 砂礫の地山。	FD340 FD259	23 25-3

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京二条三坊八町 左京二条源三・西町	南・久世東土川町180-5 伏・久我西出町2-14の一部	2/24～27 2/27	-2.7mまで時期不明の湿地位堆積。 -1.3m、湿地位堆積。	NG338 NG341	24 24
左京西条西坊五町	伏・羽東騎要川町741 神川中学校	02/10/11～03/4/21	-1.2mまで現代盛土。	NG221	24

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中久世遺跡 勝持寺古墳群・ 大原野神社遺跡	南・久世殿城町105-2の一部 西・大原野南春日町地内	2/6, 4/21 02/11/18～03/7/25	巡回時、工事終了。 No 5 : -0.33m以下、黄褐色砂泥の地山。No 6 : -0.6mで近世の包含層(瓦)。-1.2m以下、黄 褐色砂礫の地山。No 7～13 : -0.1～-0.48m以下、 黄褐色系の地山。No 17 : -0.28m以下、岩盤。 No 18・19・21 : -0.2～-1.8m以下、黄褐色およ び褐色系の砂泥層の地山。	MK323 MK264	26-1 26-2

II 2003年 4～12月期 (平成15年度)

平安宮 (HQ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大 塚 省	上・一番町87-2	6/18-23・25	-0.12m、近世の包含層。	HQ095	
大 塚 省	上・上長者町通千本西入五番町168	7/14-17	-0.55m、江戸の包含層(土師器類)。	HQ122	1
大 塚 省	上・七本松通一妻下三軒町71-8	9/3-4	-0.17m、黒色砂泥層。	HQ184	1
大 塚 省	上・仁和寺街道七本松東入一番町103-11	9/26	-0.1mまで現代盛土。	HQ206	1
大 塚 省	上・仁和寺街道七本松東入一番町86-5	11/14	-0.3m・-0.5m、江戸以降の包含層。	HQ259	1
大 塚 庁	上・仁和寺街道七本松西入上二番町194	7/30-31, 8/1-4-7	-0.3m、幅0.8m以上、深さ0.57mの時期不明の落込。-0.35m以下、褐色砂泥の地山。	HQ144	1
正 規 司	上・二番町190	11/18	掘削工事なし。	HQ265	
右 近 衛 府	上・御前通下立売上る天満屋町316-3	12/1	-0.1mまで現代盛土。	HQ280	1
因 香 寮	上・下長者町通七本松西入馬廻町245-34	10/22-28	-0.5mまで現代盛土。	HQ236	1
妻の松原	上・下立先通七本松東入長門町402	6/24-7/2	-0.3m、近世以降の包含層(染付)。	HQ105	1
妻の松原	上・六軒町通出水上る七番町329-3	6/25-26	-0.2mまで現代盛土。	HQ106	1
妻の松原	上・下長者町通七本松西入馬廻町255-31	8/5-27	-0.25mまで現代盛土。	HQ149	1
妻の松原	上・西東町364-19	10/20-27	返却時、工事終了。	HQ231	1
妻の松原	上・西東町364-19	10/20-27	返却時、工事終了。	HQ232	1
掃 部 寮	上・下長者町通六軒町西入利生町294-177-178	10/14	-0.3mまで現代盛土。	HQ224	1
掃 部 寮	上・六軒町通仁和寺街道下る因香町146-3	11/4	-0.2m、近世の包含層。	HQ247	1
右 内 右	上・高門通出水上る台銀町246-6	12/3	-0.2mまで現代盛土。	HQ286	1
右 兵 衛 府	上・御前通下立売上る天満屋町318-9	6/12	-0.1mまで現代盛土。	HQ088	1
右 兵 衛 府	上・御前通下立売上る天満屋町316-1	9/29	-0.15mまで現代盛土。	HQ204	1
真 言 院	上・下立先通千本西入船業町472	4/18-21	-0.4mまで現代盛土。	HQ022	1
真 言 院	中・築栄廻西町163-100	4/30, 5/1	-0.2mまで現代盛土。	HQ031	1
真 言 院	中・築栄廻西町163-105	6/10	返却時、工事終了。	HQ085	1
真 言 院	中・築栄廻西町163-106	6/16-18-19	掘削工事なし。	HQ094	1
真 言 院	中・築栄廻西町163-107	7/29	-0.2mまで現代盛土。	HQ146	1
中 和 院	上・下立先通千本西入船業町454	10/17-20	-0.25m、暗褐色砂泥層。	HQ230	1
中 和 院	上・千本通下立売下る小山町892	10/28-31, 11/4-5	No.4 : -0.37m、緑粘瓦を含む黒褐色砂泥層。 No.5 : -0.25m、幅1m以上、深さ0.65mの平安前期の土壌(土師器重・杯、須恵器杯)。下層から凝灰岩片が観察された状態で多量に出土。加工した痕跡を確認。	HQ243	1
東 雅 院	上・榎木町通大宮西入中書町674, 674-1, 675-1	6/23	-0.3mまで現代盛土。	HQ102	1
東 雅 院	上・榎木町通大宮西入中書町674, 674-1, 675-1	6/23	-0.3mまで現代盛土。	HQ103	1
典 薬 寮	中・西ノ京車坂町4-16	6/3	-0.25mまで現代盛土。	HQ076	1
豊 楽 院	中・築栄廻南町8-14	6/16-20	-0.7mまで現代盛土。	HQ093	1
豊 楽 院	中・築栄廻中町40	6/23-25	遺構・遺物検出できず。	HQ101	1
豊 楽 院	中・築栄廻中町41	7/17	掘削工事なし。	HQ129	1
豊 楽 院	中・築栄廻西町188-89	9/18	-0.25mまで現代盛土。	HQ198	1
朝 堂 院	中・築栄廻南町30-17	5/13-14	-0.5m以下、明黄褐色砂泥の地山。	HQ041	1
朝 堂 院	中・築栄廻南町41-4	6/16-18-19	-0.4m、近世の包含層。	HQ090	1
朝 堂 院	上・千本通二条下る主税町813の一部	8/11-13	-0.28m、明黄褐色砂泥の地山を切って時期不明の落込。	HQ156	1
朝 堂 院	上・千本通二条下る主税町813の一部	8/11-13	-0.35mまで現代盛土。	HQ157	1
朝 堂 院	上・千本通九太町上る小山町	9/3	返却時、工事終了。	HQ183	1
内 舍 人	上・下立先通千本東入中務町490-46	5/26-28	BM-0.12mまで現代盛土。	HQ062	1
中 務 省	上・九太町通千本東入中務町491-8	4/10-14	No.1 : -0.5m、平安の包含層(瓦)。-0.8m以下、黄褐色粘土の地山。	HQ016	1
主 水 司	上・竹屋町通千本東入主税町943	5/23-26	No.1 : +0.28m、時期不明の包含層(土製品)。 No.2 : +0.07m、近世の包含層。	HQ055	1
大 膳 寮	上・松屋町通九太町上る三町目668-1, 670-2-3	5/7, 8/20	-0.4mまで現代盛土。	HQ034	1
大 炊 寮	上・竹屋町通日暮西入四町目802	6/19-20	-0.4mまで現代盛土。	HQ097	1



遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
大炊寮	上・日暮通九太町下る伊勢屋町773	7/25-28	-0.6mまで現代盛土。	HQ133	1
大炊寮	上・松原町通九太町下る左馬松町787	12/22	-0.46m、時期不明の埋地層。	HQ300	1
太政官	上・千本通二条下る東入主税町827-10の一部	4/14	-0.3mまで現代盛土。	HQ018	1
太政官	上・千本通二条下る東入主税町827-10の一部	6/5	-0.34mまで現代盛土。	HQ078	1
太政官	上・千本通二条下る東入主税町827-10の一部	6/30、9/26	巡回時、工事終了。	HQ116	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-18	4/3-4	-0.05mまで現代盛土。	HQ003	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-17	4/3-4	-0.1mまで現代盛土。	HQ004	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-20	4/23	-0.1mまで現代盛土。	HQ026	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-19	5/15	-0.05mまで現代盛土。	HQ046	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町7-21	8/25	-0.2mまで現代盛土。	HQ169	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-70	10/2	-0.3mまで現代盛土。	HQ211	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-73	10/3	-0.05mまで現代盛土。	HQ212	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-74	10/16-17	-1.0mまで近現代層。	HQ226	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-75	11/13	-0.72m、埋地状堆積。	HQ257	1
右馬寮	中・西ノ京右馬寮町8-76	11/13、12/24	巡回時、工事終了。	HQ258	1
治部省	中・西ノ京内堀町11-19	5/29-30、6/2	遺構・遺物検出できず。	HQ067	1
治部省	中・西ノ京内堀町3	7/28	-0.45mまで現代盛土。	HQ135	1
兵部省	中・西ノ京内堀町26-4	9/26	-0.2mまで現代盛土。	HQ205	1
轉事	中・西ノ京内堀町16	12/10	-0.3mまで現代盛土。	HQ293	1

平安京左京 (HL)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
北辺三坊一町	上・新町通一条上一条堀町一新町通武者小路下る武者小路町 地先	7/14-8/20	№6：-1.2m、室町の埋地状堆積（土師器Ⅲ）。この層は№5・6・7・13でも検出。南北方向の溝か。№11で-0.5m、№13で-0.15mで江戸の包含層（陶器磁鉢、埴付鉢、地軸陶器皿、椀瓦）。№12：-0.09m、幅0.3m、長さ1.12m以上の方形の石柱を検出。	HL123	3
北辺四坊八町	上・京都御苑3 饗宴場跡地	4/7-6/2	№3：-0.15mで江戸の包含層。-0.66m以下、褐色微砂の地山。	HL009	3
一条二坊五町	上・下立売通西入西橋地町274-30	7/16-24	-0.4mまで現代盛土。	HL126	2
一条三坊十一町	上・室町通下立売上る勘解由小路町169	5/22-23-26	№1：-0.6m、近世の包含層。	HL054	3
一条三坊十三町	上・京都御苑3	6/30	巡回時、工事終了。	HL115	3
一条三坊十三町	上・京都御苑3	12/2-22	№1：-1.04m、江戸の路面状堆積（土師器、瓦器、白磁）。№2：-0.27m、江戸の包含層（土師器Ⅲ）。№3：-0.28m、江戸の包含層（土師器Ⅲ）。№4：-0.35m、江戸の包含層（椀瓦）。№5：-0.64m、江戸の瓦葺。	HL285	3
二条三坊七町	中・衣櫛通九太町下る玉植町229	7/24-25-28	№1：-0.55m、近世の包含層。№2：-1.3m、室町の包含層（土師器Ⅲ・瓦器火倉）。-1.6mで黄褐色砂泥の地山を切って中世の土層2。	HL132	3
二条三坊十五町	中・東洞院竹屋町上る三本木町452	5/23-26-6/2	№1：-0.7m、時期不明の包含層（土師器Ⅲ）。№2：-0.03m、近世の焼土層（椀瓦確認）。	HL056	3
二条三坊十六町	上・京都御苑3の一部	6/2-7/14	-0.15-0.6m、近世の包含層を7箇所確認。№3：-0.31m、-0.75mで焼土層。焼土層に挟まれて椀瓦が多数に出土。№6・8・9・11・12地点で焼土層確認。	HL074	3
二条四坊二町	中・高倉通竹屋町上る坂本町706-3	9/4	-0.3mまで現代盛土。	HL187	3
二条四坊四町	中・間之町通二条上る夷町582	6/26-27	-0.56m、近世の焼土層。	HL107	3
二条四坊十五町	中・富小路通九太町下る料屋町326	8/25-26	-0.35m、江戸の包含層。	HL171	3
二条四坊十二町	中・夷川通御馬場東入娘屋町293-1	4/7-25	-1.9-2.75mまで埋地状堆積。-2.6m、室町一桃山の包含層（土師器Ⅲ、須恵器鉢）。-2.75m以下、オリープ灰色粗砂の地山。	HL010	3

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
三条一坊 二町	中・西ノ京北殿町15-1, 18-1, 2, 19-1-2	5/26~28	-0.47m、中世の包含層(土師器皿、黒色土器、灰釉陶器、平瓦)、平安の土器遺入。-1.0m以下、黄褐色砂泥の地山。	HL063	2
三条一坊十二町	中・西ノ京池ノ内町30-2	12/3-4	-0.16m以下、近世以降の包含層2。-1.3m以下、江戸の地状堆積(陶器器鉢)。	HL287	2
三条二坊 四町	中・備前通跡小路下る緒備庵町327	11/17	-0.2mまで現代盛土。	HL261	2
三条二坊十町	中・姉小路通地小路東入宮木町483	4/21~5/1	-0.6m、室町の包含層(土師器皿、焼締陶器鉢)。	HL023	2
三条二坊十五町	中・御池通西洞院西入押西洞院町	7/9~16	No.1: -0.96m、鎌倉の包含層(土師器皿、焼締陶器鉢)。	HL119	2
三条二坊十五町	中・小川通御池地上る下古城町391	9/24, 10/1~3-6	No.1: -0.15m、江戸の包含層。No.2: -0.55m、平安の包含層(土師器皿、須恵器、白磁片)。-0.72m、平安中期の包含層(土師器小片、須恵器鉢)を切って平安の落込(土師器片、須恵器鉢、灰釉陶器鉢)の東屑。	HL203	2
三条三坊 二町	中・御池通西洞院東入横之町738 他4筆	8/21-22	-0.3m、江戸の包含層。	HL165	3
三条三坊 八町	中・二条通堂町西入大恩寺町252-1	10/3-6	No.2: -0.25m、-0.47mで踏面状の層、二条大跡に位置する。-0.28m、江戸の包含層(枕瓦)。	HL213	3
三条三坊十一町	中・室町通御池地下る円福寺町350-1他	5/15-16-19~22	-0.57m以下、流れ堆積。		
三条三坊十一町	中・室町通御池地下る円福寺町350-1他	5/15-16-19~22	-1.6m~-2.7m、横山~江戸前期(土師器皿、瓦器、地輪陶器皿、瓦質陶器火鉢、輸入染付)の湿り地状堆積。-2.7m以下、灰色粘土の地山。	HL047	3
三条三坊十二町	中・両替町通跡小路下る柿本町393	8/12-13-18~21	No.1: -0.53m、江戸初期の包含層(土師器皿、唐津板・黄瀬戸皿・志野、焼締陶器)。	HL159	3
三条三坊十五町	中・東洞院通押小路下る船屋町411-1-2	11/10~17	No.1: -3.6mまで江戸の湿り地状堆積。No.2: -3.3mまでNo.1と同様の湿り地状堆積。-3.3m以下、暗オリーブ灰色細砂の地山。No.3: -2.4mで灰オリーブ色砂泥の地山を切って、湿り地状堆積の東屑。調査地の西半分が湿り地状堆積。	HL252	3
三条四坊 二町	中・問之町通押小路下る高田町500	4/22-23	-1.15mまで時期不明の築地層。	HL024	3
三条四坊 三町	中・東洞院通御池地下る釜屋町444, 444-1	6/11~13-18	No.2: -1.36~-2.0mまで江戸の湿り地状堆積(土師器皿、地輪陶器鉢)。No.3: -2.0mで灰オリーブ色砂泥の地山を切って鎌倉の落込(土師器皿)。No.4: -2.0m、灰オリーブ色砂泥の地山を切って室町の土壌(土師器皿)。	HL086	3
三条四坊 四町	中・姉小路通東洞院東入岳樂院前町706-3 元初音中学校	5/27-28, 6/2	-1.0m、近世の包含層。-1.6m、室町の包含層(土師器)。	HL066	3
三条四坊 五町	中・瀬町通御池地下る丸木材木町~立売中之町	9/22~11/13	No.2: -0.17m、焼土層。No.3: -0.15m、-0.2m、近世以降の踏面。No.5: -0.16~-1.24m間で14層の三条大跡踏面及び築地層。遺物は出土せず。No.8: -1.14m、室町の包含層(土師器皿)。	HL201	3-5
三条四坊 六町	中・瀬町通御池地下る丸木材木町648-1	11/20~12/2	-0.5m以下、近世の包含層3(土師器、磁器、枕瓦確認)。-1.8m、平安後期の包含層(土師器皿、須恵器鉢、地輪陶器片、白磁片)。	HL267	3
三条四坊十五町	中・船屋町通御池地上る上白山町258-1	6/13-18	-0.7m、近世の包含層。	HL089	3
三条四坊十五町	中・船屋町通御池地上る上白山町258-2	6/20, 7/2	-0.2m以下、近世の包含層。-1.65m、時期不明の包含層(土師器皿)。	HL099	3
因条一坊 三町	中・壬生御所ノ内町17-3-15, 16-1	10/22~29	No.3: -0.78m、姉小路踏面。-1.03m、平安前期の湿り地状堆積。No.5: -1.18m、平安前期の遺物を多量に含む地、洲浜検出。No.6: 地の屑口を検出。北部の屑口、洲浜を検出。平安前期の土器多量に出土。No.7; No.6の南屑口の続きと思われる層より土師が多量に出土。詳細は京都府文化財調査センターが報告。	HL237	4

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
四条一坊 八町	中・壬生馬場町15-5	10/17	-0.82m、室町前期の包含層(土師器Ⅲ・ミニチュアの羽釜、須恵器)。-0.95m、路面、坊城小路。	HL229	4
四条一坊 十町	中・壬生馬場町45-2・3	6/30~7/16	No 1 : -0.5m以下、近世・鎌倉の包含層(土師器Ⅲ)。No 2 : -0.4m、埋地状堆積、-2.2m以下、黄褐色砂礫の地山。No 3 : -1.1mで室町の包含層(土師器Ⅲ)。	HL113	4
四条二坊 六町	中・瀬川通西側、御地通~四条通	6/9~8/4	-0.72m、にふい黄褐色砂礫の地山を切って、平安の落込、四条坊門小路南側溝の南岸。本報告8ページ。	HL082	2・4
四条二坊十二町	中・榎ヶ井通錦小路下る藤西町598-1	6/12-13-18	No 1 : -0.8m、にふい黄褐色砂礫の地山を切って鎌倉の落込(土師器Ⅲ、須恵器Ⅲ、瓦器)。No 2 : -1.1m、室町の包含層(土師器Ⅲ)。	HL087	4
四条二坊十三町	中・錦小路通池小路東入也町494、495-1・2、497-1・2・3	5/15-16-19,10/9	-1.2m、江戸の包含層。-1.55m以下、暗灰黄色細砂の地山。	HL044	4
四条二坊十三町	中・池小路通四条上る藤本町550,550-1	11/26~28,12/1	No 1 : -0.9m、室町の包含層(土師器Ⅲ、瓦器Ⅲ、羽釜、天目鉢)。-1.1m、鎌倉~室町の包含層。-1.35m、平安の包含層(平瓦)を切って時期不明の土壇(土師器Ⅲ)。No 3 : -1.84m以下、暗オリーブ色砂礫の地山。	HL277	4
四条三坊 八町	中・室町通三条下る烏帽子町500,六角通室町西入五藏町135	5/15-16-20	-1.0m、近世の包含層。	HL045	5
四条三坊十二町	中・室町通錦小路下る菊水鉦町576	8/7~26	No 1 : -0.65m、江戸の包含層。No 2 : -0.3m、鎌倉の包含層(土師器Ⅲ、瓦器Ⅲ)。No 3 : -0.9m、室町の包含層(土師器Ⅲ)。-1.2m、室町の落込(土師器Ⅲ)の東岸。No 4 : -2.2m以下、暗褐色砂礫の埋地堆積。	HL152	5
四条三坊十四町	中・東洞院通嶋瀬下る元竹田町642、640-1・2	9/29,10/1~8	No 1 : -1.5m、平安末期~鎌倉・室町の土層を含む落込2。-1.7m以下、にふい黄褐色粘土の地山。No 3 : -1.7m、江戸の包含層(土師器Ⅲ)。	HL207	5
四条四坊十六町	中・寺町通三条下る永楽町225	7/29,8/1・6-27	-0.35m、江戸の包含層。-0.49~-0.96mまで路面状の堆積。東京臨大路西条地付近に位置する。	HL143	5
五条二坊 一町	下・黒門通四条下る下り松町158地	12/1-9	No 1 : -0.65m、近世の包含層。-1.15m、室町の包含層(土師器Ⅲ)。No 3 : -0.9m、室町の包含層(土師器Ⅲ、輸入青磁、平瓦)。-1.0m以下、オリーブ褐色砂礫の地山。	HL281	4
五条二坊 五町	下・猪熊通高辻下る高辻猪熊町362	4/3~9	No 1 : -0.43m、-1.0m、室町の包含層(土師器Ⅲ)。No 2 : -1.3m、にふい黄褐色粘土の地山を切って室町の土壇(土師器Ⅲ・Ⅱ)。No 3 : -1.23m、平安後期の包含層(土師器Ⅲ)。	HL005	4
五条二坊 七町	下・堀川通錦小路下る綾堀川町302	9/17-18-22-26	-2.3mまで擾乱土層内。	HL194	4
五条二坊十二町	下・松原通池小路西入橘町41-10	5/23-26	-0.35m、-0.7m、近世の包含層2。	HL057	4
五条二坊十六町	下・西洞院通四条下る妙伝寺町705	4/10,5/2-13	-0.44m、近世の包含層。-1.05m以下、流れ堆積。	HL015	4
五条二坊十六町	下・池小路通四条下る石井町530,532-1	11/5-7,12~14/17	No 1 : -1.0m、室町の包含層(土師器Ⅲ、白磁碗、瓦)。No 2 : -0.52m、江戸の土壇(土師器Ⅲ)。No 3 : -1.23m、江戸の包含層。	HL249	4
五条三坊 一町	下・新町通四条下る四条町370-1	6/9-10	-0.9mまで現代遺土。	HL081	5
五条三坊 一町	下・新町通四条下る四条町359-1	11/7-12~14	-1.36m、溝喰層。-1.37m、室町の包含層。	HL251	5
五条三坊 六町	下・室町通高辻上る山王町535,537,538	5/12~21	No 1 : -0.88m以下、室町の包含層(土師器Ⅲ、焼酎陶器Ⅲ、平安の須恵器Ⅲ要入)3。-1.64m以下、オリーブ色砂の地山。No 2 : -0.4m、近世の地土層。-1.4m、室町の包含層(焼酎陶器Ⅲ、瓦器、瓦)。	HL038	5
五条三坊 七町	下・新町通錦小路下る船鉦町395-4	8/29	-1.5m以下、にふい黄褐色砂礫の地山。	HL178	5
五条三坊十五町	下・東洞院通錦小路下る層南屋町299	12/16-18-22	-1.65m、にふい黄褐色砂礫の地山を切って江戸の落込。	HL295	5
五条四坊 五町	下・高倉通松原上る本蔵町 地先	7/28~8/7	-0.7m、近世の包含層。	HL138	5

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
五条四坊 八町	下・綾小路通柳馬場西入綾村水町195、197-2	4/28~5/6	-1.43m、室町の包含層(土師器皿、輸入白磁、須恵器鉢、瓦)。 -2.35m以下、オリーブ色砂礫の地山。	HL027	5
五条四坊十一町	下・富小路通仏光寺下る路筋町148-2他	4/1~21	-0.75m~-1.13m、江戸の包含層。	HL001	5
五条四坊十六町	下・西条通寺町西入奈良物町359	9/22-24-26	-0.15m、時期不明の包含層(土師器皿小片)。	HL199	5
六条二坊 一町	下・松原通大宮下る西門前町418	5/21-22	平安末期、鎌倉の包含層、土師群を検出。本報告18ページ。	HL051	4
六条二坊 十町	下・櫛ヶ井通五条上る小泉町94	5/26~30	平安末期、鎌倉の包含層、土師群を検出。本報告18ページ。	HL064	4
六条三坊 一町	下・新町通松原下る富水町120	8/18~29	No 1 : -0.26m、近世の包含層。-0.73m、地土層。No 3 : -1.25m、鎌倉の包含層(土師器)。 -1.45mで灰オリーブ色砂礫の地山を切って鎌倉の落込(焼締陶器)の東側。No 4 : -1.32~-1.49m、平安末期-鎌倉(土師器)・鎌倉(土師器)・江戸(京焼)の遺構3。-1.62m以下、褐色砂礫の地山。	HL161	5
六条三坊 一町	下・西洞院通松原下る永倉町562	11/4~13	-0.9m以下、江戸の包含層。	HL248	5
六条三坊 七町	下・五条通新町東入東藤屋町175	6/5~6	No 2 : -0.83m、時期不明の土壌状遺構(土師器片、須恵器)。	HL077	5
六条三坊 八町	下・室町通松原下る元岡替町259-1	4/7-9-10-14	-1.08m、中世の包含層(土師器皿、焼締陶器類)。-1.4m、平安後期の落込(土師器皿、瓦器類、焼締陶器類、白磁)。	HL008	5
六条三坊 八町	下・松原通新町東入中野之町185	8/28-29、9/1~4	No 1 : -2.4m、灰オリーブ色砂礫の地山を切って鎌倉の土壌(土師器皿)。No 2 : -1.5m、室町の包含層(土師器皿)。-1.85m、時期不明の包含層(土師器、灰焼陶器)。-2.0m以下、灰質色砂礫の地山。No 3 : -1.5m、室町の包含層(土師器皿)。-1.75m、平安後期の包含層(土師器皿)。	HL177	5
六条三坊十三町	下・不明門通五条下る二丁目下平野町477-1、479	10/3~6	-0.67m以下、江戸の包含層。	HL214	5
六条三坊十五町	下・烏丸通五条上る尾王子町420他	12/5~18	-0.9m、江戸の包含層(土師器羽釜)。	HL290	5
七条一坊 七町	下・二丁目町21-1他	7/7~11	-0.3m、近世の包含層(積瓦、染付、土師器)。 -0.84m以下、オリーブ灰色砂礫の地山。	HL118	6
七条三坊 五町	下・烏丸通七条上る常楽町754	10/6~7	-0.27mまで現代盛土。	HL219	7
七条三坊十三町	下・七条通烏丸東入真字屋町200、202-1、202、不明門通七条上る粉町223-1、3、224	5/30、6/2-3、7/4-17	No 1 : -0.95m、-1.55m、時期不明の包含層(土師器)。No 2 : -2.3m以下、泥濘堆積。	HL068	7
八条二坊十三町	南・西九条院町13-1北ノ内町13-2、下・東塚小路高倉町32-1、33-1他	8/25~11/28	-0.2m、近世の包含層。	HL173	6-7
八条三坊 二町	下・西洞院通高小路下る東塚小路町930他	8/7~12/24	-2.43m、室町の包含層(土師器皿、瓦器類)。	HL151	7
八条三坊 八町	下・七条通新町東入西地町148-2、4-5	11/21-26	-0.1m、近世の包含層。	HL273	7
八条三坊十五町	下・東洞院通七条下る堀小路町533、533-2、3	11/28、12/2~3	No 1 : -1.15m、湿地状堆積。-1.3m、礫を多量に含む砂泥層、池の底部か路面か不明。No 2 : -1.32m、平安の湿地状堆積(須恵器短瓶蓋)。	HL279	7
八条三坊十五町	下・東洞院通七条下る東塚小路町719-6、575-1	11/20-26、28、12/2	-2.0m、湿地状堆積。-3.0m以下、明黄褐色砂礫の地山。調査地全域に池状堆積が広がる。時期不明。	HL272	7
八条三坊十六町	下・真字屋町218	8/6~8	-0.2m、近世の瓦葺、瓦は二次焼成を受ける。 -1.0m、近世の包含層。	HL150	7
八条四坊 七町	下・上之町19-9	7/14-15	-0.25m、泥濘堆積。	HL124	7
八条四坊 八町	下・七条通四町東入材木町471-1、2、5-6	8/25	-0.1m以下、時期不明の包含層。	HL175	7
九条一坊 十町	南・王生通八条下る東寺町 地先	10/23	-0.77m、時期不明の包含層。-0.9m以下、湿地状堆積。	HL239	6
九条四坊 六町	南・東九条南山王町52-1他摩	8/25-26	-0.4m以下、流石堆積。	HL172	7

平安京右京 (HR)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査№	図版
北辺三坊 西町	北・大得草一条町18	9/17~19	-0.5m, 時期不明の包含層(土師器小片)。 -1.2m以下, ぶい質褐色砂泥の地山。	HR195	8
一条四坊十五町	右・御室坂町~花園寺/内町	9/1~11/14	-0.65m以下, オリーブ質色細砂の地山。	HR179	8
二条二坊十一町	中・西ノ京南上合町93-1,2,90-4	11/18	-1.15mまで現代盛土。	HR264	9
二条三坊 五町	中・西ノ京徳大寺町2	10/8-9	-0.37m・-0.52m, 平安の包含層(土師器瓦, 須恵器, 緑地陶器)。	HR221	8
三条一坊 一町	中・西ノ京梅尾町44-8	4/4・10-14	-0.5mまで現代盛土。	HR006	9
三条一坊 七町	中・西ノ京星地町 地先	11/17~12/1	№1~4:-0.9~1.8mまで現代盛土。	HR263	9
三条二坊 十町	中・西ノ京東中合町48	10/14	-0.56m, 中・近世の包含層(須恵器壺, 瓦), -1.2m以下, 明質褐色粘質土の地山。調査区南東端で時期不明の土壌。	HR235	9
三条二坊十四町	中・西ノ京西中合町	8/25~29	№3:-0.52m・-0.59m, 時期不明の包含層(須恵器, 土師器, 磁器)。 -0.6m, 湿地状の包含層(土師器)。 -0.97m, ぶい質褐色粘土の地山を切って皇町の南北方向の溝(土師器)。	HR174	8-9
三条二坊十五町	中・西ノ京東中合町1, 西中合町72, 桑原町1	8/8~9/9	№3:-1.04m, 湿地状堆積。№5:-0.67m, 鎌倉の包含層(土師器瓦, 須恵器鉢), №6:-0.8m以下, オリーブ褐色砂泥の地山, №9:-0.7m, 時期不明の包含層(土師器小片)。 -0.97m, 時期不明の包含層(土師器)。	HR154	8-9
三条三坊 二町	中・西ノ京中合町67-1	4/10-14	-0.97m, 時期不明の包含層(土師器)。	HR013	8
三条四坊 七町	右・山ノ内御堂敷町43-1,44-1,45-1	4/2~16	№2:-0.65m, オリーブ色砂泥の地山を切って時期不明の土壌, №5:-0.77m, 時期不明の土壌, №6:-0.15m, 平安中期の包含層(土師器小片, 須恵器壺)。調査地全域に平安中期の包含層が広がっていた。	HR002	8
三条四坊十四町	右・葛野大路道東親, 御池通~西高瀬川 地内	6/30~9/10	-2.35m以下, ぶい質褐色粘土の地山。	HR114	8
四条二坊 九町	右・西院上今田町20,20-4, 中・壬生上大竹町2-1の一部,2-2	8/11・12・18・19	-0.5mまで現代盛土。	HR153	11
四条二坊十二町	右・西院東海和院町32-4	6/26-27	-1.2mでオリーブ黒色土の遺地状堆積。調査地は御土層にあたるため, 御土層の層の可能性あり。	HR108	11
四条三坊 七町	右・西院下花田町8-2	7/28~31,8/4-5	-1.36m以下, オリーブ質色粘土の地山。	HR136	10
四条四坊十六町	右・葛野大路通西側, 三条通~四条通	10/27~12/2	-0.93m以下, 質褐色土・質褐色粘土の地山。	HR238	10
五条一坊十六町	中・壬生典前町16-5	11/25	-0.2mまで現代盛土。	HR275	11
五条四坊 八町	右・西院安樂町21	6/6-9	-1.2m, 湿地状堆積。	HR079	10
六条一坊 三町	下・五条通, 七本松通東入~千本通 地内	6/2~27,7/8-24	-1.02m以下, 質褐色砂泥の地山。	HR072	11
六条一坊 六町	下・中堂寺北町~中堂寺坊城町 地内	6/2~18,7/14-24	-1.2m以下, 微砂層と細砂層, 河川の可能性あり。	HR071	11
六条一坊 六町	下・中堂寺南町109~115	9/17~10/28	-0.9m, 平安末期~鎌倉の包含層(土師器瓦, 須恵器)。 -1.04m, 時期不明の土壌(土師器瓦, 瓦)。 -1.1m以下, オリーブ褐色砂泥の地山。	HR193	11
六条一坊 六町	下・五条通北側, 七本松通~千本通 地内	11/18~12/18	-0.69m, 時期不明の包含層(土師器小片)。 -0.96m以下, オリーブ褐色細砂の地山。	HR266	11
六条二坊 十町	右・西院南高田町18-2	5/30,6/2-3	№1:-0.77m以下, 沼底堆積層, №2:-0.5mで平安中期の包含層(土師器瓦, 須恵器壺)。 -0.44m以下, 耕作土。	HR070	11
六条二坊十五町	右・西院舟町40-1-3,42-1	8/22-25	平安前期の溝を検出。本報告13ページ。	HR166	11
六条三坊 七町	右・西院西神町 地内	5/12~8/13	平安前期の溝を検出。本報告13ページ。	HR039	10
六条三坊十一町	右・西院流分町 地先	5/21~9/9	№2:-1.65m以下, 質褐色砂泥の地山, №5:-0.52m, 江戸の包含層。 -0.7m以下, 湿地状堆積。この層は西方へ狭くなる。	HR052	10
六条三坊十五町	右・西院久保田町6-4他	4/11・14~16	-0.85mまで現代盛土。	HR017	10
六条四坊 三町	右・西院六反田町3	12/1-2	-0.92m, 江戸の包含層(土師器瓦, 焼締陶器火倉)。 -1.63m以下, ぶい質褐色砂泥の地山。	HR282	10
七条一坊十六町	下・西七条西八反田町8	6/19・23・25~27	-0.62m以下, 灰質褐色細砂の地山。	HR098	13
七条二坊 九町	下・西七条掛越町34	12/2-3	-0.26m, 時期不明の包含層(土師器瓦)。	HR284	13
七条二坊 十町	下・西七条比輪田町12-1	12/1-2	№1:-0.7m, 沼底堆積, №2:-0.64m, 平安中期の包含層(土師器瓦・壺)。	HR283	13

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
九条一坊 七町	南・唐橋弁圓町14-1	10/7・8	-0.27m、時期不明の包含層。	HR220	13
九条二坊 九町	下・七条御所ノ内南町95-1	6/27,7/2~9	No 1 : -0.6m・-0.8m、時期不明の包含層(土師器類)。No 2 : -0.68m、近世の包含層。	HR109	13
九条三坊 七町	南・吉祥院西ノ庄猪之馬場町1.2	12/3・4	-0.55m以下、オリブ褐色砂礫の地山。	HR288	12
九条四坊 一町	南・吉祥院宮ノ西町 地先	10/27~11/12	No 1 : -0.5m以下、天神川の氾濫堆積層。No 3 : -0.36m、炭を下層に敷きつめた時期不明の包含層(土師器、瓦部)。	HR242	12
九条四坊 一町	南・吉祥院中河原里南町7,7-1	12/24・25	-0.4m以下、オリブ褐色砂礫の地山。	HR303	12
九条四坊 三町	南・吉祥院中河原里北町32-1の一部、32-2、32-3の一部	4/10・14	遺構・遺物検出できず。	HR014	12

### 洛北地区 (RH)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
妙興寺遺跡臨時河上瓦窯跡	左・岩倉榎町91	10/17,12/8	-1.55m、灰オリブ色砂泥層、炭を多く含む。	RH228	14-1
植物園北遺跡	北・西賀茂丸川町61-2	9/8・9	-0.15m、時期不明の包含層(土師器小片)。	RH189	14-3
植物園北遺跡	左・松ヶ崎芝木町 地内	6/2~27	-1.75mまで現代盛土。	RH073	14-4
植物園北遺跡	北・上賀茂藤田町70-4	6/6	+0.09mまで現代盛土。	RH080	14-4
植物園北遺跡	北・上賀茂藤田町20-2・3,19-1	6/10~12	遺構・遺物検出できず。	RH084	14-4
植物園北遺跡	左・下鴨南野々神町1-2	9/4・5・8	No 1 : -1.0m以下、暗褐色砂泥の地山。No 3 : -0.75m以下、泥状堆積。	RH188	14-4
北野遺跡・北野院寺	北・北野西白梅町70-1,71-1の一部	5/14	遺構・遺物検出できず。	RH042	15-1
北野遺跡・北野院寺	北・西大路通東側、盧山寺邊〜今小路 地内	9/2~11/25	No 2 : -0.65m、時期不明の落込の北側。No 5 : -0.15m、時期不明の土壌。幅3.5m以上、深さ0.85m。No 6 : -0.4m以下、褐色砂泥の地山。No 9 : -0.62m、時期不明の落込の北側。No 9より南へ1.35mの地点で時期不明の土壌2。No 12 : -0.35m、時期不明の落込の南側(土師器)。	RH182	15-1
北野遺跡・北野院寺	北・北野紅梅町49,50,51	9/12・16・17	No 2 : -0.45m、飛鳥の包含層(土師器小片、須恵器杯・壺・丸瓦)。	RH192	15-1
北野遺跡・北野院寺	北・北野下白梅町24	10/23・27	-1.2mまで現代盛土。	RH240	15-1
北野遺跡・北野院寺	北・北野下白梅町81-2	12/5	-0.55mまで現代盛土。	RH289	15-1
松ヶ崎院寺	左・松ヶ崎榎町40	7/25・28	-0.4mまで現代盛土。	RH134	15-2
半木町榎跡	左・下鴨半木町65-2	9/1	-0.04mまで現代盛土。	RH180	15-3
室町殿跡(花の御所)	上・毒鳥屋町147-2	12/22	-0.85m、近世の包含層(土師器、埴輪陶器類、丸瓦)。	RH299	15-4
上京遺跡	上・堀川通上立売上北舟橋町843	10/17・21・22	-0.59m以下、江戸の包含層(土師器類)。	RH227	15-4
上京遺跡	上・新町通今出川上元新在家町161-2	10/20~22・28	No 1 : -0.5m、江戸の包含層。-0.8m、室町の包含層(土師器類)。No 2 : -1.2m以下、にびい質褐色砂礫の地山。	RH233	15-4
上京遺跡	上・丸丸通一条上る西入広橋殿町411-2	12/8・10・11・15	No 1 : -0.25m・-0.53m、江戸の包含層(土師器類)。No 2 : -1.5m、江戸の包含層(土師器、軒丸瓦、須恵器灰子混入)。-1.92m、室町の包含層(土師器類)。	RH292	15-4
相国寺内境内	上・柳園子町、寺門前町	7/28~12/2	No 7 : -0.74m、室町の土壌(土師器類)。No 22 : -1.3m、室町の包含層(土師器類、埴輪陶器)。	RH137	15-4

太秦地区 (UZ)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
広沢池遺跡	右・山崎町1他	5/22~6/11	No 1 : -1.0m、近現代の埋め立て地。-2.7m以下、灰白色粗砂の地山。No 2 : -0.9m以下、灰白色粘土の地山。	UZ065	16-1
太秦馬塚町遺跡	右・太秦北通り20-1,7-2,8-2の一部	6/24~26	No 1 : -0.64m、時期不明の包含層。No 2 : -0.86m以下、オリーブ褐色粘土の地山。	UZ104	16-1
広沢西浜遺跡	右・嵯峨一本木町~広沢西浜町	7/9~9/17	No 1 : -1.87m、埋め立て地。No 7 : -1.22mで埋め立て地。No 12 : -1.34m以下、黄褐色粘土の地山。No 14 : -0.96m、中世以降の包含層(平瓦)。	UZ120	16-2
梅津森原町遺跡	右・梅津森原町~梅津前田町 地先	8/28~10/20	No 4 : -1.2m、埋め立て地。No 5 : -1.5m以下、埋め立て地。No 9 : -0.45m、近世以降の包含層。	UZ176	16-3

北白川地区 (KS)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
沖殿町遺跡	左・修学院川尻町19-11	10/29-30	-1.1m、オリーブ灰色微砂層を抽出。	KS244	16-4
北白川廃寺	左・北白川山田町54	1/10-12-13-26	BM+1.04m以下、粗砂、細砂、粘土の互層堆積。	KS253	16-5
吉田二子坂町遺跡 吉田上大路町遺跡	左・吉田上大路町27-3	10/2-3-7-8	BM+1.78m、近世の包含層。	KS210	17
聖徳院川原町遺跡	左・聖徳院川原町(梅小路通、近衛通~春日上通)	8/11~9/29	No 2 : -0.37m、江戸の包含層。-0.67~-1.47m、流れ堆積。No 4~6 : -0.85m以下、流れ堆積。No 8 : -0.45m~-0.6m、時期不明の包含層(土師器)。	KS158	17
田中橋又跡	左・東大路通東側、一乗寺道~飯山電鉄地内	5/6~7/14	No 1 : -0.37m、時期不明の包含層(土師器)。 No 2・3 : -0.4m、近世の包含層。No 4 : -0.66m、時期不明の包含層(土師器)。No 6 : -0.7mで時期不明の土層。遺構・遺物を抽出した地点は、該当遺跡の範囲外である。	KS033	17
北白川町遺跡 北白川通分町遺跡	左・北白川西町73	7/3-4-7	No 1 : -0.15m、近世の包含層。-1.2m以下、 によい黄褐色細砂の地山。No 2・3 : -0.35m、 時期不明の包含層(土師器)。包含層の下層の 黒色砂泥層は縄文~弥生の包含層の可能性あり。	KS117	17
岡崎遺跡	左・白川通、岡崎東天王町~永観堂西町地内	6/2~9/1	No 3 : -1.7m以下、灰オリーブ色砂礫の白川の 泥炭堆積。No 6 : -1.22mで固くしまる黒褐色 砂泥層を抽出。	KS075	17
岡崎遺跡 白河街区跡	左・岡崎円勝寺町151,151-2~6、南禅寺東 川町38-1,4~6,40,49-1,2	4/15~7/2	-0.18~-1.15m、近世の包含層(土師器、陶器)。 -1.25m、中世の包含層(瓦器)。-1.56~-2.12 m以下、黄褐色砂礫・暗オリーブ色微砂・によ い黄褐色細砂の地山。	KS019	17
岡崎遺跡 法勝寺跡	左・岡崎法勝寺町77	4/23	-0.2mまで現代盛土。	KS025	17
岡崎遺跡 法勝寺跡	左・岡崎法勝寺町82-9の一部	8/25-26	BM+0.27mまで現代盛土。	KS170	17
岡崎遺跡 法勝寺跡	左・岡崎法勝寺町 岡崎動物園内	10/6~8	-0.6m、江戸以降の包含層。	KS215	17
岡崎遺跡 法勝寺跡	左・岡崎東天王町1 市立岡崎中学校	11/20~12/9	No 1 : -0.6m、平安末期~鎌倉の包含層(土師 器皿、丸瓦、平瓦)。No 3 : -1.0m、鎌倉の包 含層(土師器皿、平瓦)。-1.1m、平安末期の 包含層(土師器皿、瓦器)。No 4 : -0.54m、 平安末期~鎌倉の包含層(土師器皿、根巻器、 瓦器、輸入青磁、格子目叩き瓦)。No 5 : -0.2 m、近世以降の包含層(棧瓦、染付)。-0.5m、 平安末期の包含層(土師器皿、丸瓦、平瓦)。 調査地全体に平安末期から鎌倉の包含層が広が るが、土層の状況から客土の可能性あり。	KS270	17

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎天王町62-15	11/25	-0.25mまで現代盛土。	KS276	17
岡崎遺跡・法勝寺跡	左・岡崎南御所町19	12/5	-0.1mまで現代盛土。	KS291	17
得長弁院跡	左・聖護院蓮華蔵町1-1	4/17	-0.45mまで現代盛土。	KS020	17
白河新区跡	左・岡崎真知堂前町6-21	10/29-30	遺構・遺物検出できず。	KS245	17
白河南院跡	左・聖護院蓮華蔵町 地先	5/21	遺構・遺物検出できず。	KS053	17
白河南院跡	左・聖護院蓮華蔵町54-19	8/21	-0.2mまで現代盛土。	KS164	17
白河南院跡	左・杉本町263-1	10/20,12/24	基壇跡、工事終了。	KS216	17
白河北院跡	左・聖護院河原町2-4,4-15	6/27	-0.65mまで現代盛土。	KS110	17
白河北院跡	左・聖護院川原町25-13の一部	11/13,12/24	巡回時、工事終了。	KS255	17
白河北院跡	左・聖護院川原町26-1	11/13	-0.5m、近世の包含層。	KS256	17

### 洛東地区 (RT)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
中臣遺跡	山・勧修寺西金ヶ崎町260,261	4/7-16	-0.32mまで現代盛土。	RT007	18-2
中臣遺跡	山・東野舞台町95-5	5/13	-0.3mまで現代盛土。	RT040	18-2
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ崎町65-15-16の一部	6/16	-0.35mまで現代盛土。	RT092	18-2
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ崎町64-18	9/3-4	-0.15mまで現代盛土。	RT185	18-2
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ崎町64-20	9/3	-0.2mまで現代盛土。	RT186	18-2
中臣遺跡	山・柳辻番所ヶ口町37-2	9/17-18-22	-1.5m以下、灰黄褐色粘土の地山。	RT197	18-2
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ崎町64-15	10/1	-0.15mまで現代盛土。	RT209	18-2
中臣遺跡	山・勧修寺西金ヶ崎町18-1	11/19	-0.2mまで現代盛土。	RT268	18-2
中臣遺跡	山・勧修寺西金ヶ崎町269-4	11/19	-0.2mまで現代盛土。	RT269	18-2
中臣遺跡	山・勧修寺東茶畑野町18-12の一部	11/25-26,12/1	-0.3m、時期不明の包含層。	RT274	18-2
中臣遺跡	山・勧修寺東金ヶ崎町113	12/12	-0.51mまで現代盛土。	RT294	18-2
中臣遺跡	山・勧修寺西金ヶ崎町245,256	12/22	遺構・遺物検出できず。	RT302	18-2
法興院跡	中・河原町二条下る清水町345	5/21	-0.1mまで現代盛土。	RT050	18-3
山科本願寺南裏跡	山・宮羽伊勢宿町32-15	8/1	-0.1mまで現代盛土。	RT146	18-5
山科本願寺南裏跡	山・宮羽伊勢宿町32	8/4	-0.25mまで現代盛土。	RT148	18-5
勧修寺境内	山・勧修寺本堂山町3-4-37	10/31-11/4	-0.4mまで現代盛土。	RT246	18-6
法住寺殿跡	東・日吉南通、東大路通～今瀬野日吉町地内	5/12-29	夜間工事のため観察できず。	RT036	19
六波羅政庁跡	東・本町三丁目105,103	5/30,6/2-4	-0.7m、時期不明の整地層。	RT069	19
六波羅政庁跡	東・門脇町181-2	7/28-30	-0.3m、近世の包含層。-0.95m以下、灰白色粘土の地山。	RT139	19
六波羅政庁跡	東・石垣町東側99	7/29-30	-0.7m以下、オリーブ色細砂・粗砂の地山。	RT142	19
六波羅政庁跡	東・山田町498,500-1	9/2-5-8	No.1:-0.75m、花崗堆積層。泥炭堆積層の間に2面の整地層。No.2-3:No.1と同一地積。上層の整地層より江戸の土師器。No.4:-0.25m以下、漆喰と砂泥層を互層にした面4面検出。-0.28mの砂泥層から江戸の検付、陶器が出土。-0.67m以下、粗砂の泥炭堆積層。	RT181	19
法性寺跡	東・本町十五丁目794	9/18-19-22-24	No.1:-1.0m以下、中世の湿地状堆積(平瓦)。No.2:-0.4mでオリーブ色粘土の地山を切って湿地状の落込の家跡。No.3:-0.25m以下、オリーブ色粘土の地山。	RT196	20-1
法性寺跡	東・福福館所ノ内町11-4	10/8	-1.1m以下、におい黄褐色砂泥の地山。	RT222	20-1

### 鳥羽地区 (TB)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
上鳥羽遺跡	南・上鳥羽鴨田17-1	9/10	-0.14m、褐色砂泥の地山を切って東西方向の耕作溝(土師器)。	TB190	25-1



道 路 名	所 在 地	調 査 日	調 査 概 要	調査No	図版
唐 橋 遺 跡	南・吉祥院清水町2、1の一部	12/24	-0.68m、砂礫の肥遺堆積。	TB305	20-2
深 草 遺 跡	伏・深草町遠町22-4-6	11/27-28	-0.34m以下、オリブ褐色細砂の地山、	TB278	20-4
淀 城 跡	伏・淀木津町	10/16	淀城の本丸堀部分にあたるため、湧水が著しく、 工事中止。観察できず。	TB225	20-5
鳥 羽 遺 跡	伏・竹田西内畑町159の一部	4/15	-0.12mまで現代盛土。	TB011	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田西内畑町159の一部	4/15	-0.15mまで現代盛土。	TB012	21
鳥 羽 遺 跡	伏・中島北ノ口町2-3	12/15	-1.0mまで現代盛土。	TB297	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田東小屋ノ内町99	4/28	-0.3m、時期不明の包含層（土師器）。	TB029	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田西内畑町159の一部	5/19	-0.1mまで現代盛土。	TB048	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田西内畑町159の一部	5/19	-0.1mまで現代盛土。	TB049	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	5/26-27-30	-0.4mまで現代盛土。	TB058	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	5/26-27-30	-0.4mまで現代盛土。	TB059	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	5/26-27-30	-0.4mまで現代盛土。	TB060	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	5/26-27-30	-0.4mまで現代盛土。	TB061	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・中島秋ノ島町55-6	6/10-12	-0.3mまで現代盛土。	TB083	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田中殿町78-2	7/16	-0.1mまで現代盛土。	TB127	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田中殿町78	7/16	-0.1mまで現代盛土。	TB128	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田東小屋ノ内町 地先	7/17-18-22	-0.7m以下、湿地状堆積。	TB130	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田浄菩提院町307の一部	7/30	-0.1mまで現代盛土。	TB141	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田中殿町78-3	7/30	-0.15mまで現代盛土。	TB145	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田浄菩提院町307-6	8/19	-0.3mまで現代盛土。	TB162	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・中島前山町69、70	9/22-24	-0.72m以下、湿地状堆積。	TB200	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田中殿町 地先	10/6-8	-0.65m、湿地状堆積。	TB218	21
鳥 羽 離 宮 跡	伏・竹田中殿町78-1	11/14-17	-0.3mまで現代盛土。	TB280	21
羽 東 師 志 水 町 遺 跡	伏・羽東師志水町41の一部	8/4-18	-0.41mまで現代盛土。	TB147	24
久 我 東 町 遺 跡	伏・羽東師志水町～久我東町	11/17-12/2	No 1：-1.37m、湿地状堆積。No 2：-0.66～0.99 m、旧耕作土層と床土の互層堆積。No 4：-0.25 m、固く締まった層。近現代の路面か。	TB262	24
下 三 橋 遺 跡	伏・横大路下三橋里ノ内10-2	8/18	-1.18mまで現代盛土。	TB160	25-2

### 伏見・醍醐地区 (FD)

道 路 名	所 在 地	調 査 日	調 査 概 要	調査No	図版
黄金塚1号墳	伏・桃山町遠山28-19	8/22-25	BM+0.41m以下、および黄褐色微砂の地山、	FD168	23
伏 見 城 跡	伏・桃山町遠山61	4/18	BM+2.22mまで現代盛土。	FD021	23
伏 見 城 跡	伏・京町三丁目198-1,199-1	5/12-13	-0.45mまで近世の被土層。	FD037	22
伏 見 城 跡	伏・深草大亀谷万谷峠町	5/19-20	-0.5mまで現代盛土。	FD043	23
伏 見 城 跡	伏・桃山町伊藤31	6/19-20	-0.2m以下、明黄褐色微砂の地山。-0.35mで 岩盤。	FD096	23
伏 見 城 跡	伏・桃山福島太夫西町25-1	6/30-7/25	No 1：-0.32m、近世の包含層（陶器）。No 2： -0.67m以下、明黄褐色微砂の地山。No 3：-0.72 m、近世の包含層。	FD111	22
伏 見 城 跡	伏・深草大亀谷六林町～桃山町正宗	7/9-8/6	-0.14m以下、黄褐色粘土・砂混・明褐色砂泥 の地山。	FD121	23
伏 見 城 跡	伏・京町北七丁目13-1	7/15-25	No 1：-0.5m、築土を含む江戸の包含層（土師 器、瓦、棟瓦）。No 2：-0.15m、江戸の包含層。	FD125	22
伏 見 城 跡	伏・京町西丁目142-1	8/19-21-25	BM+0.9m、江戸の包含層。+0.3m以下、黄 褐色砂礫の地山。	FD163	22
伏 見 城 跡	伏・桃山町島津58-11	8/22-25-26	BM+2.65m以下、黄褐色粗砂礫の地山。	FD167	23
伏 見 城 跡	伏・桃山町紅雲町38	11/20-21	-0.55mまで現代盛土。	FD271	23
向 島 城 跡	伏・向島庚申町52-1の一部	4/30	-0.4mまで現代盛土。	FD030	25-4
法 性 寺 跡	伏・深草車坂町20-43	6/30,7/3-4-8	BM+6.4m以下、岩盤。	FD112	20-1
伏見稲荷大社境内					

長岡京地区 (NG)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
左京北園跡十一町	南・久世橋山町212-1	6/20・23・25～27	-1.55mまで現代盛土。	NG100	26-1
左京一条跡十二町	伏・久我本町11-260	6/16・18	-1 mまで現代盛土。	NG091	24
左京西条三坊一・八町	伏・羽東師養川町 地先	5/7・8・12・13	-1.02m以下、オリーブ褐色粘土の地山。	NG035	24
左京五三坊七・十一町	伏・羽東師養川町351-1、古川町273	10/6	-0.5mまで現代盛土。	NG217	24

南・桂地区 (MK)

遺跡名	所在地	調査日	調査概要	調査No	図版
福西古墳群	西・大枝中山町3-210	7/22	-0.5mまで現代盛土。	MK131	25-5
福西古墳群	西・大枝東長町3-24-652	10/14	-0.25mまで現代盛土。	MK223	25-5
源原院寺	西・標原内堀外町9-6	5/1	-0.1mまで現代盛土。	MK032	25-6
上久世遺跡	南・久世上久世町161	4/28～5/2	-0.5mまで現代盛土。	MK028	25-7
上久世遺跡	南・久世上久世町127-5	11/12	-0.3mまで現代盛土。	MK254	25-7
大藪遺跡	南・久世大藪町	9/29	巡回時、工事終了。	MK208	26-1

## 報告書抄録

ふりがな	きょうとしなにいせきたちあいちょうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成15年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	近藤孝子、堀内寛昭、吉本健吾							
編集機関	創京都市遺跡文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大富東入兜伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御地上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2004年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
平安京跡 左京三条西坊八 町、等持寺跡	京都市中京区 御高徳通二条下 等持寺町	26100		35度0分35秒	135度45分59秒	2003.1.6 ～1.17		マンション
平安京跡 左京四条二 坊六	京都市中京区 堀川通西御寺通～ 二条通	26100		35度0分10秒	135度45分15秒	2003.6.9 ～8.4		水道工事
平安京跡左京六 条二坊十町、烏 丸跡小路遺跡	京都市下京区 藤ヶ井通五条上る小 泉町 地内	26100		34度59分38秒	135度45分19秒	2003.5.26 ～5.30		店舗
平安京跡 右京六条三坊 七町、西院遺跡	京都市右京区 西院西舟町 地内	26100		34度59分37秒	135度43分52秒	2003.5.12 ～8.13		水道工事、ガ ス工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
平安京跡 左京三条西坊八 町、等持寺跡	都城	江戸	土塀	土器類				
平安京跡 左京四条 二坊六町	都城	平安	落込	土器類・瓦類				
平安京跡左京六 条二坊十町、烏 丸跡小路遺跡	都城	鎌倉	包舎層、土塀	土器類				
平安京跡 右京六条三坊 七町、西院遺跡	都城	平安	溝	土器類				

## 報告書抄録

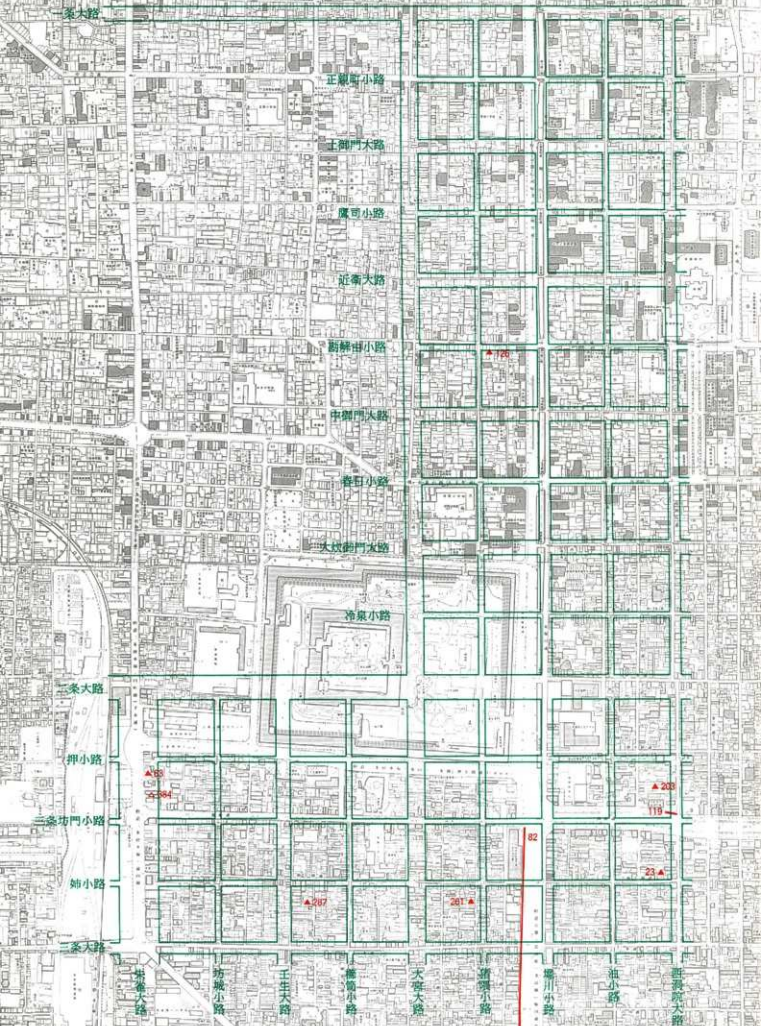
ふりがな	きょうとしなにいせきたちあいちょうさがいほう							
書名	京都市内遺跡立会調査概報 平成15年度							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編者名	近藤孝子、堀内寛昭、吉本健吾							
編集機関	朝京都市埋蔵文化財研究所							
所在地	〒602-8435 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1 TEL075-415-0521							
発行機関	京都市文化市民局							
所在地	〒604-0925 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 TEL075-222-3108							
発行年月日	西暦2004年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
鳥羽離宮跡	京都市伏見区竹田西内堀町、竹田 浄智院跡可也	26100		34度56分34秒	135度45分16秒	2002.7.23 ～2003.1.14		高道道路
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
鳥羽離宮跡	離宮	古墳	包含層	土器類				

# 圖 版

### 凡 例

- △ — — 2003年1～3月期（平成14年度）立会調査地点  
▲ ——— 2003年4～12月期（平成15年度）立会調査地点

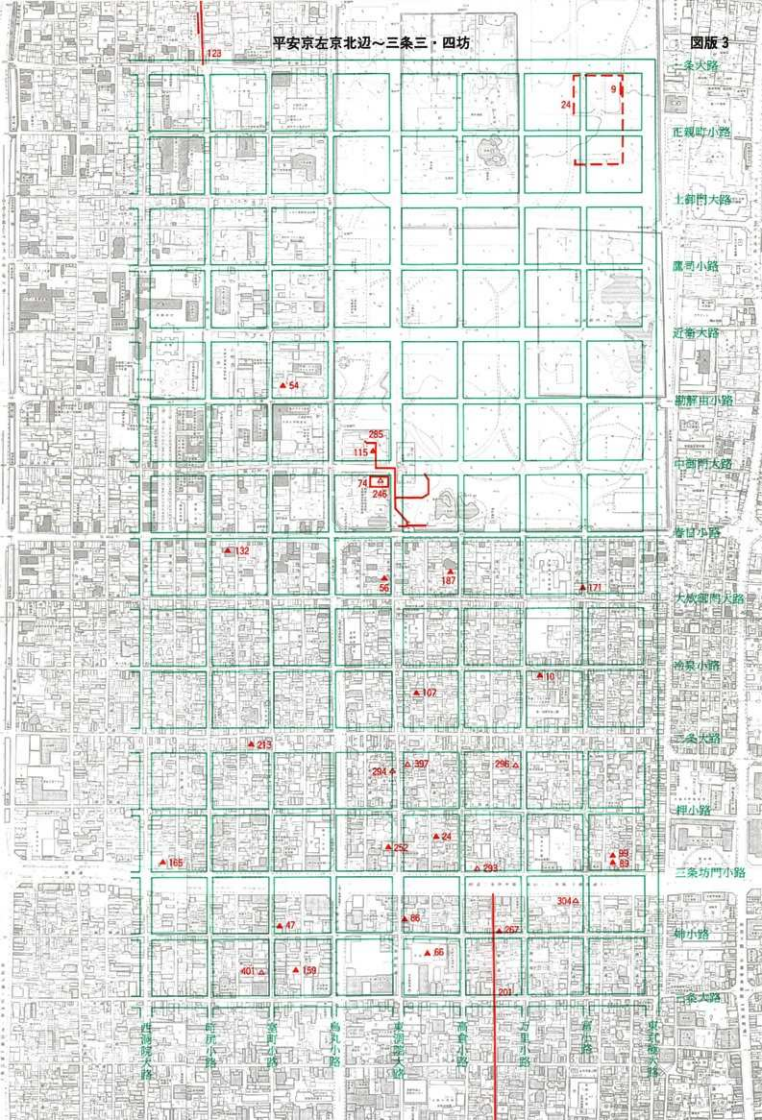






平安京左京北辺～三条三・四坊

図版 3



一条大路

正親町小路

土御門大路

廣司小路

近衛大路

勸解田小路

中西門大路

壽昌小路

大成部門大路

神泉小路

一条大路

神小路

三条坊門小路

物小路

一条大路

西御所大路

町所小路

空町小路

烏丸小路

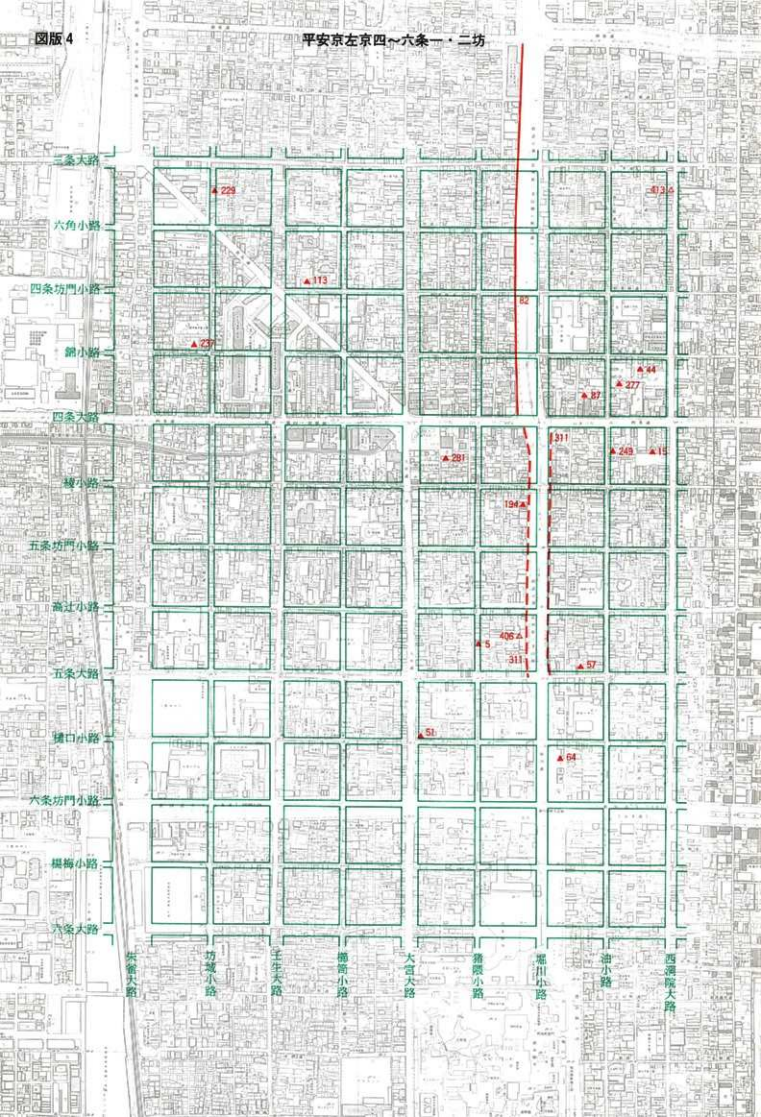
東漢部大路

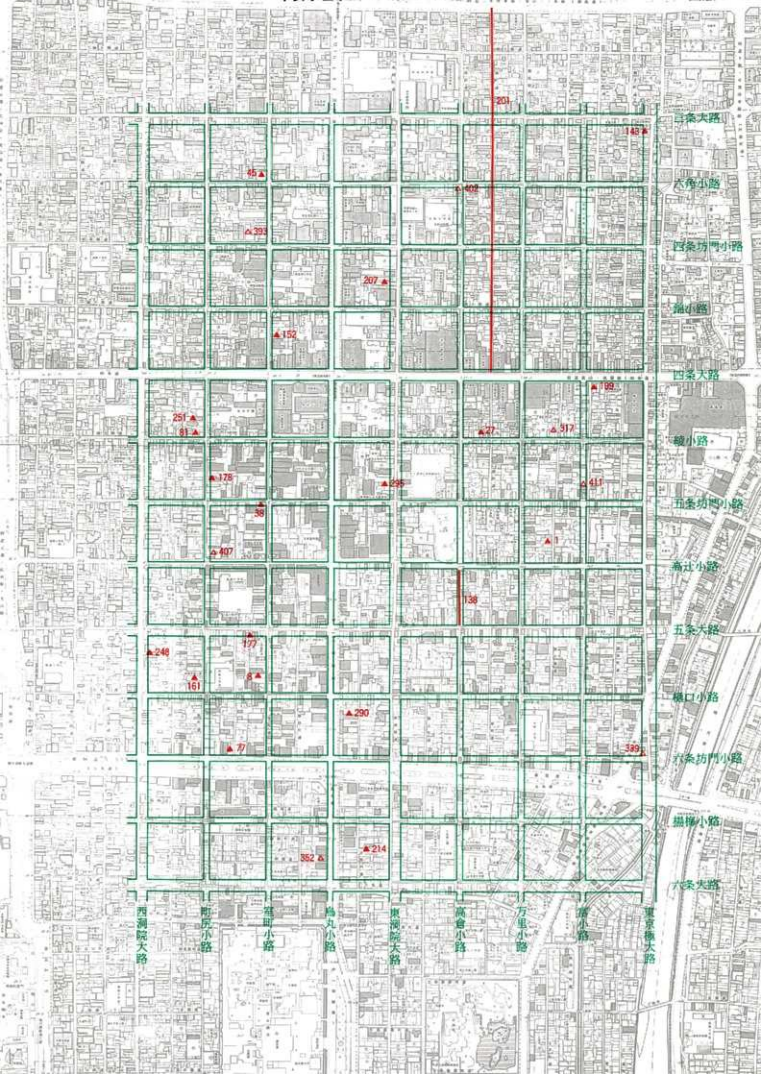
高倉小路

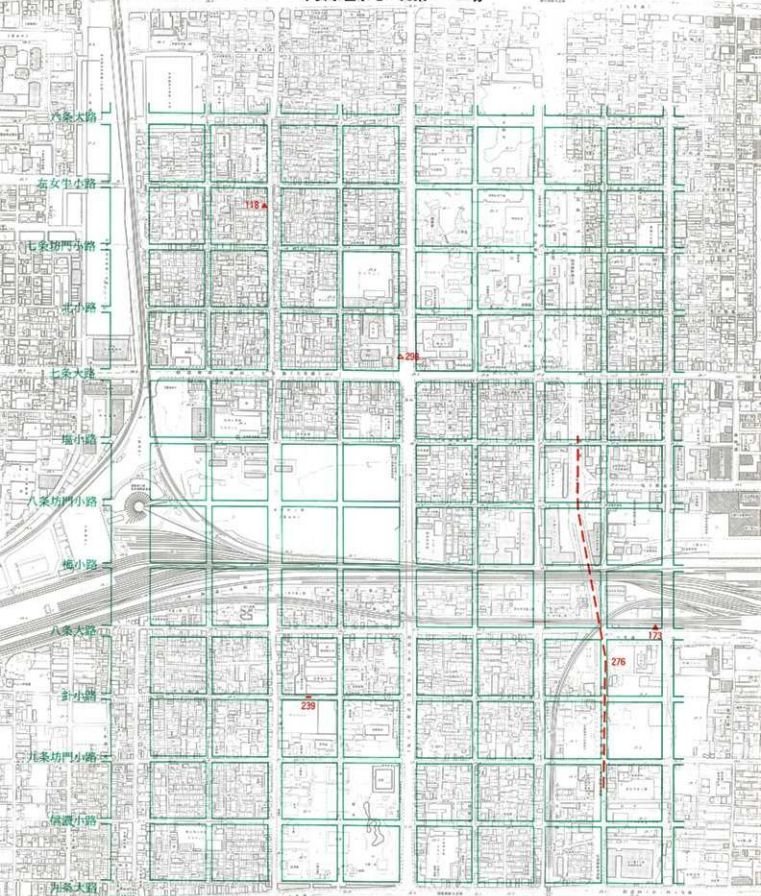
方里小路

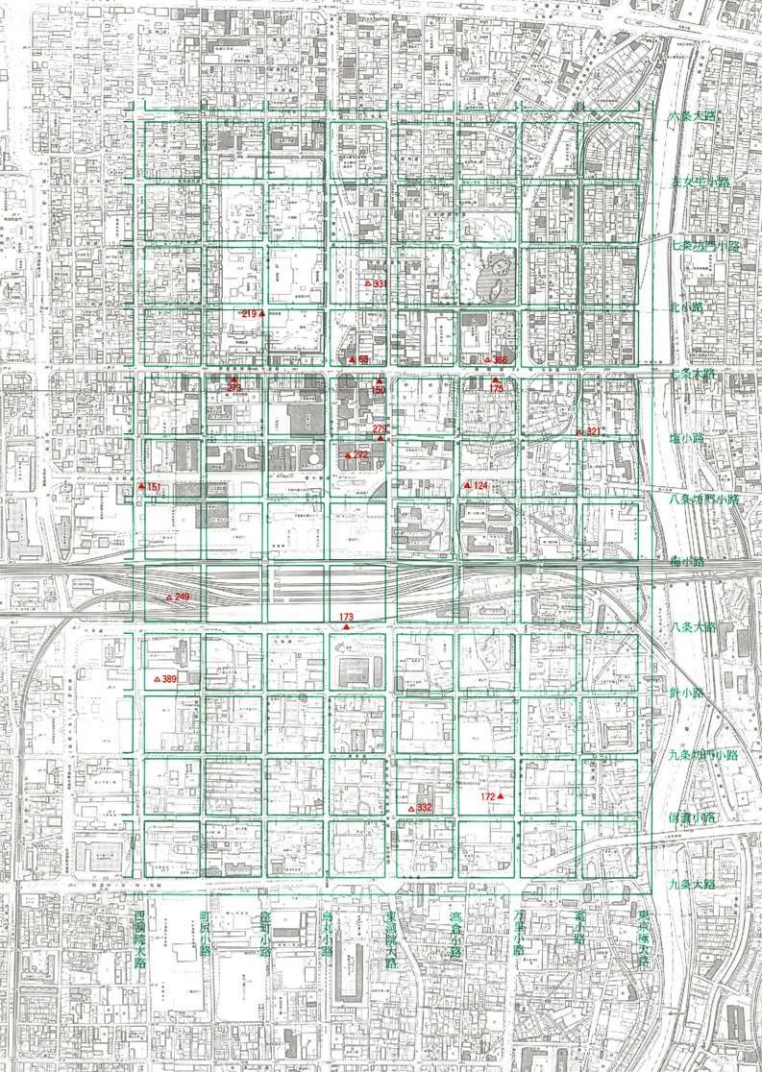
南小路

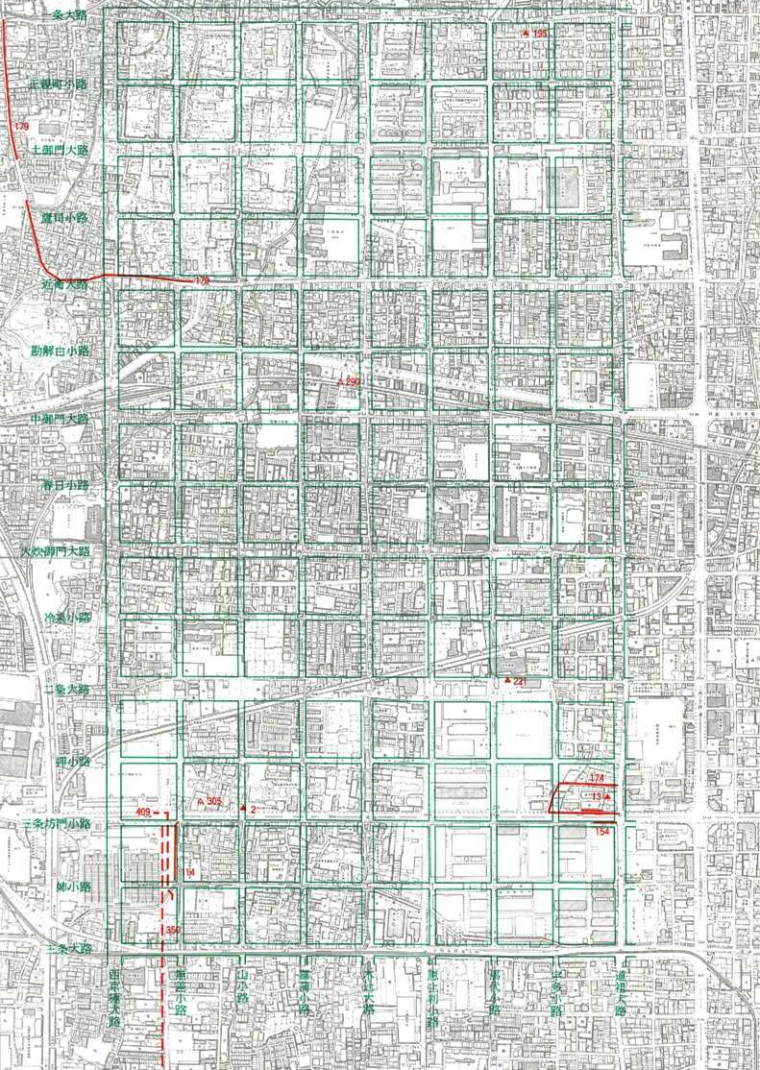
東御所大路

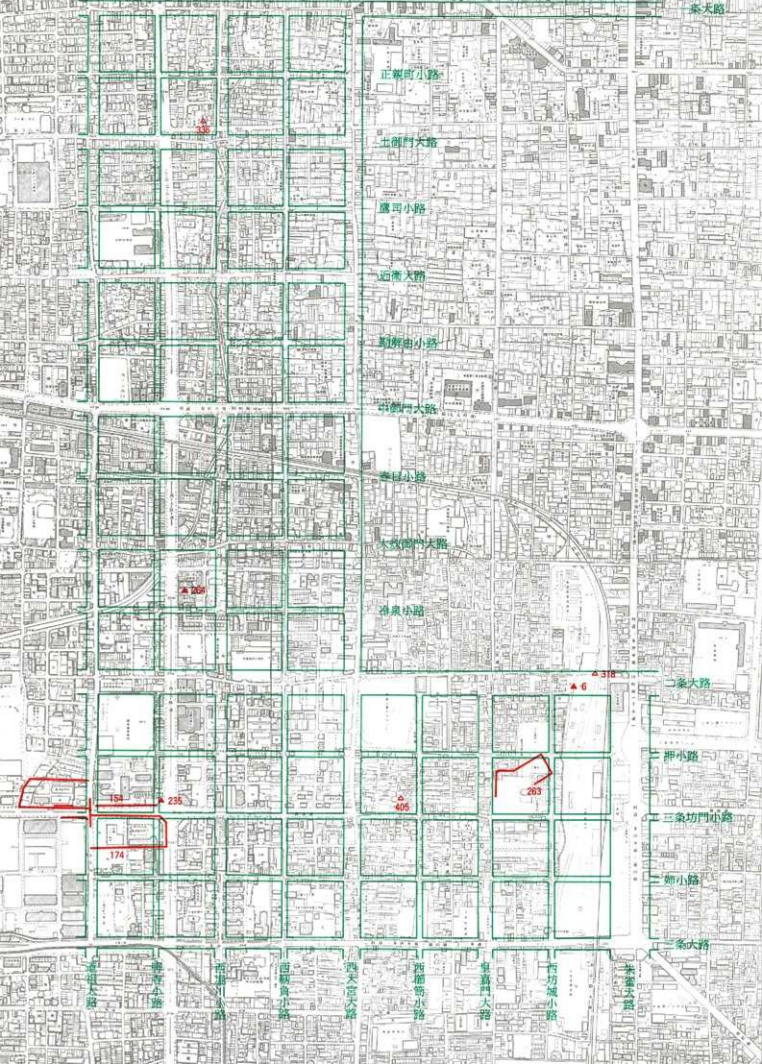












正觀門小路

土御門大路

鷹司小路

近衛大路

新御由小路

三御門大路

藤原小路

大炊御門大路

清泉小路

二条大路

押小路

三条坊門小路

御小路

一条大路

左大臣大路

藤原小路

西御門小路

西御門小路

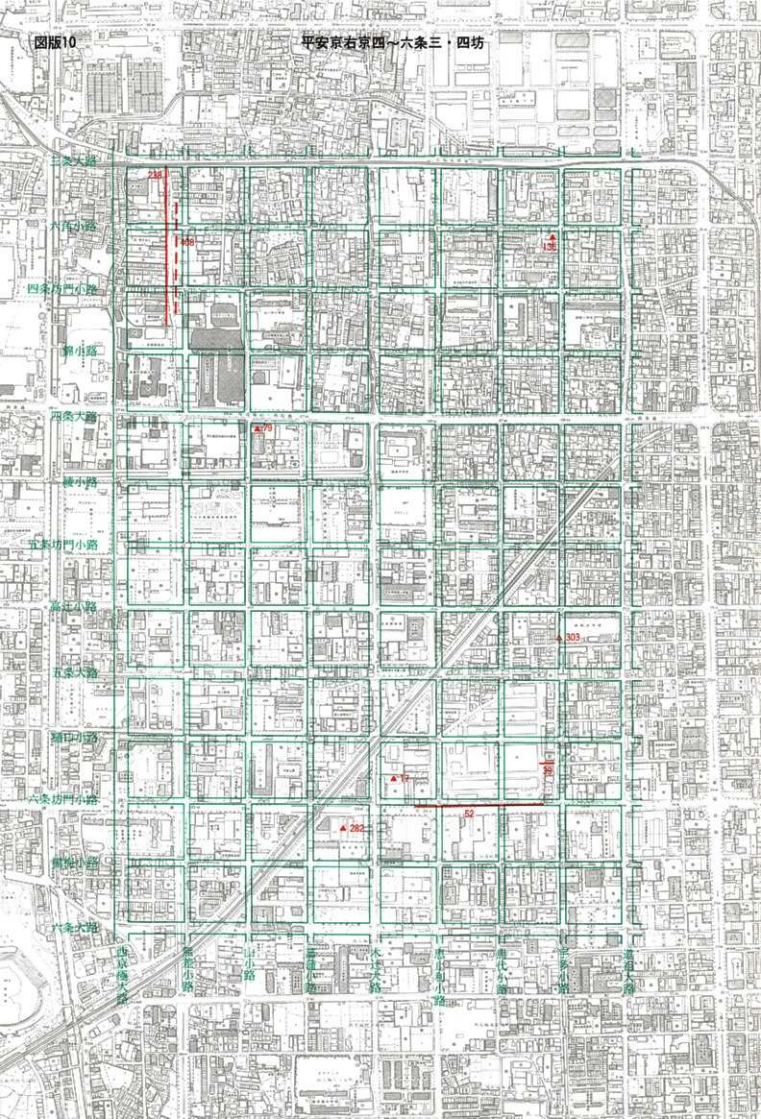
西御門大路

西御門小路

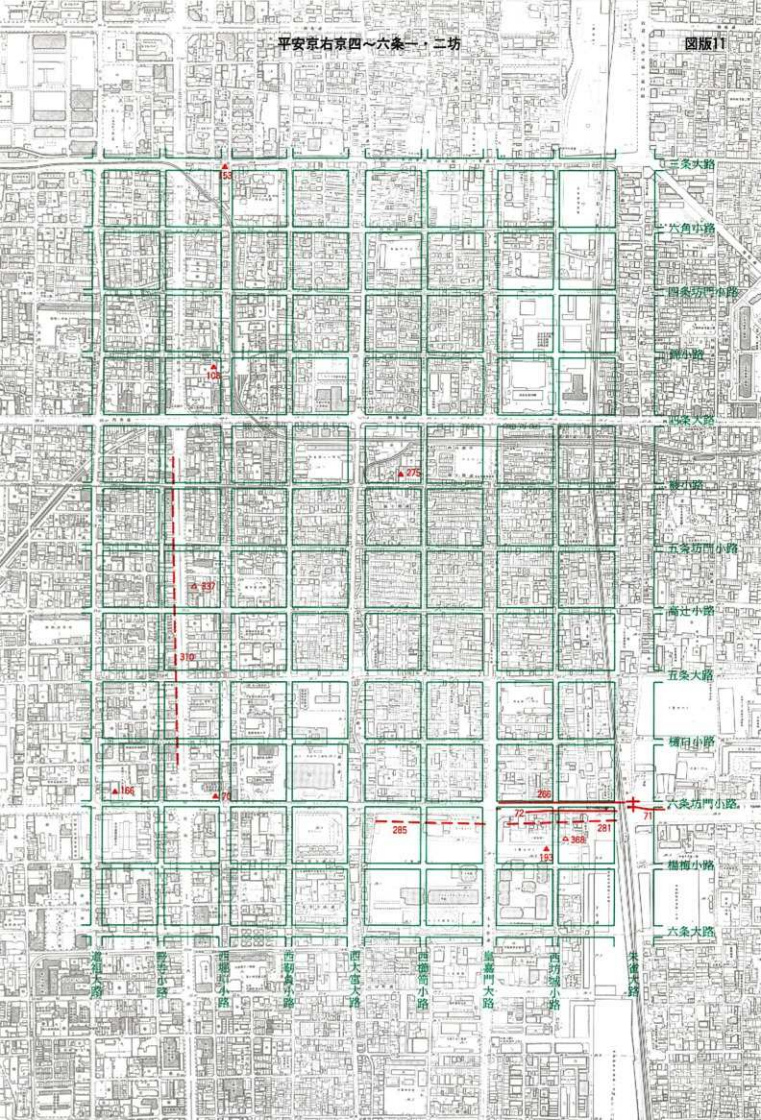
皇極門大路

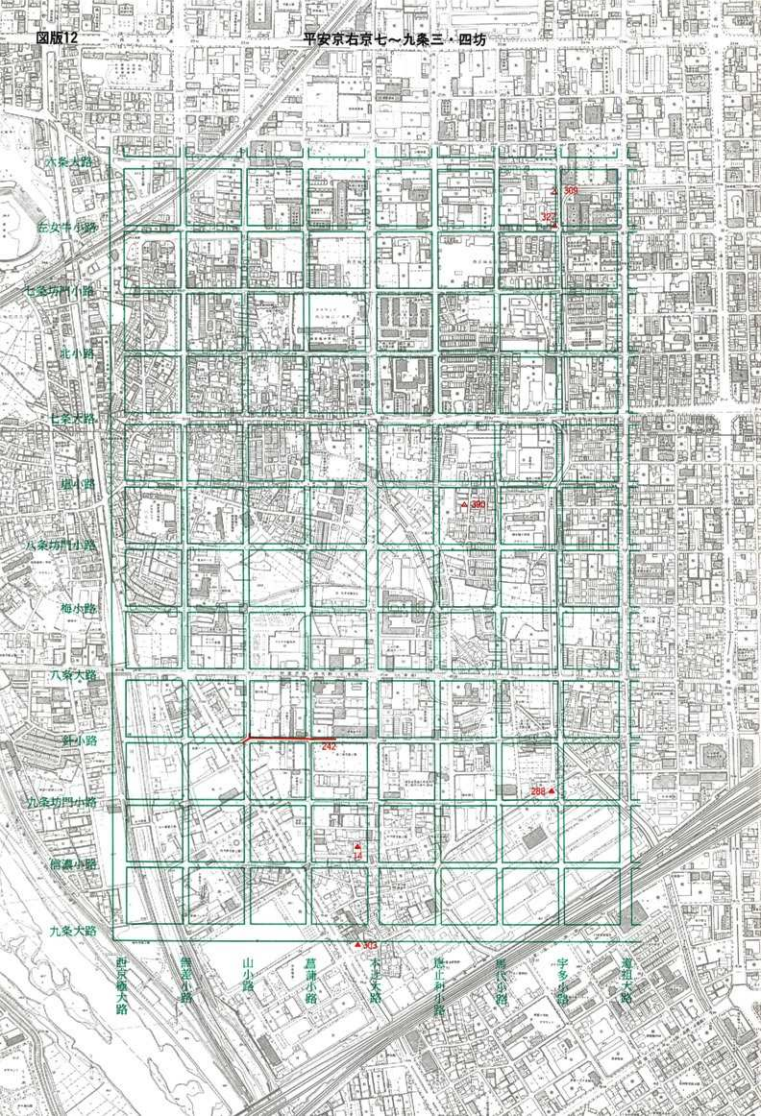
西御門小路

左大臣大路









六条大路

在女牛小路

七条坊門小路

北小路

七条大路

堀小路

八条坊門小路

堀小路

八条大路

針小路

九条坊門小路

信濃小路

九条大路

西京橋大路

錦雲小路

山小路

葛井小路

木志大路

應正町小路

馬代小路

宇多小路

通船大路

308

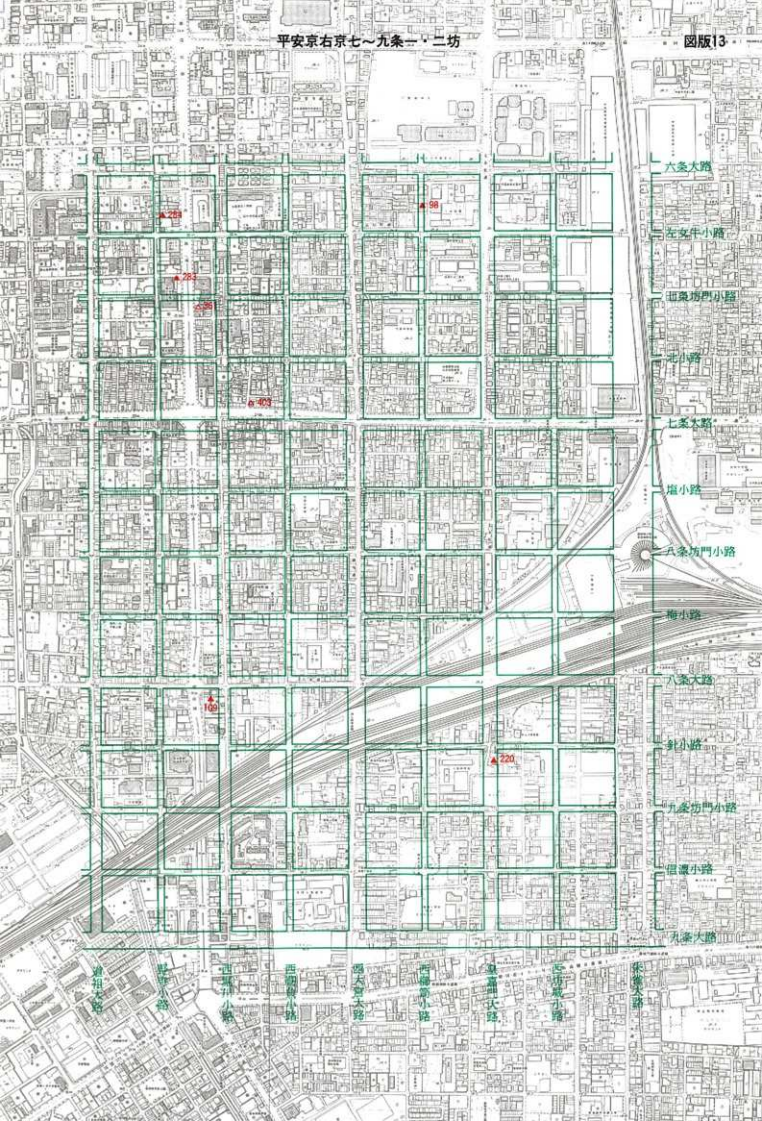
307

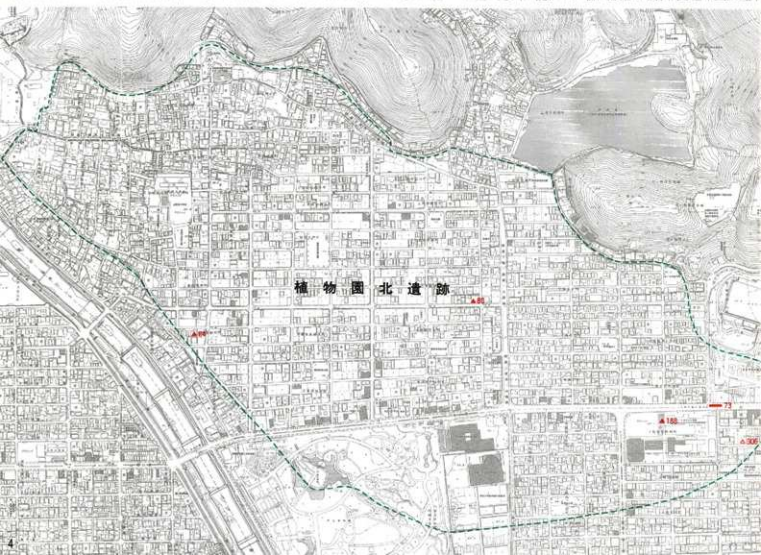
300

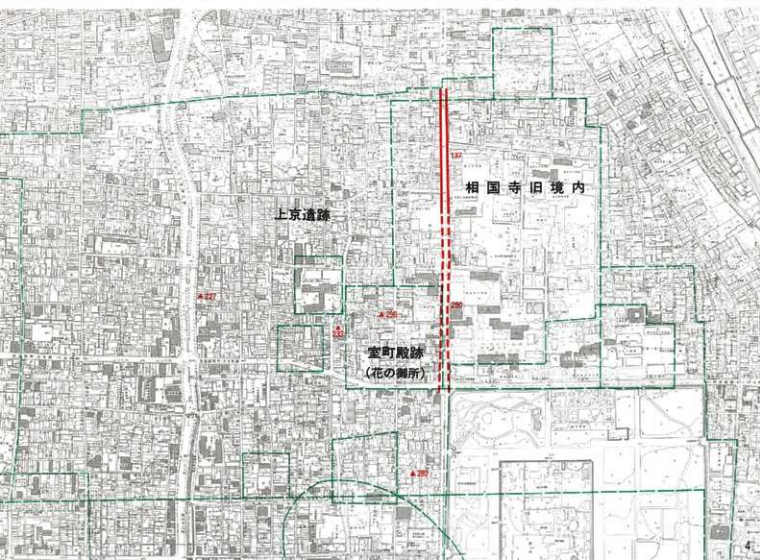
292

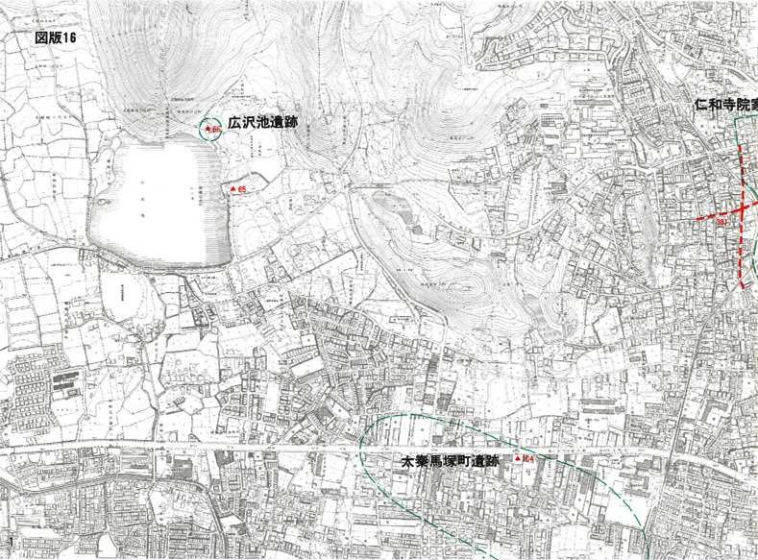
288

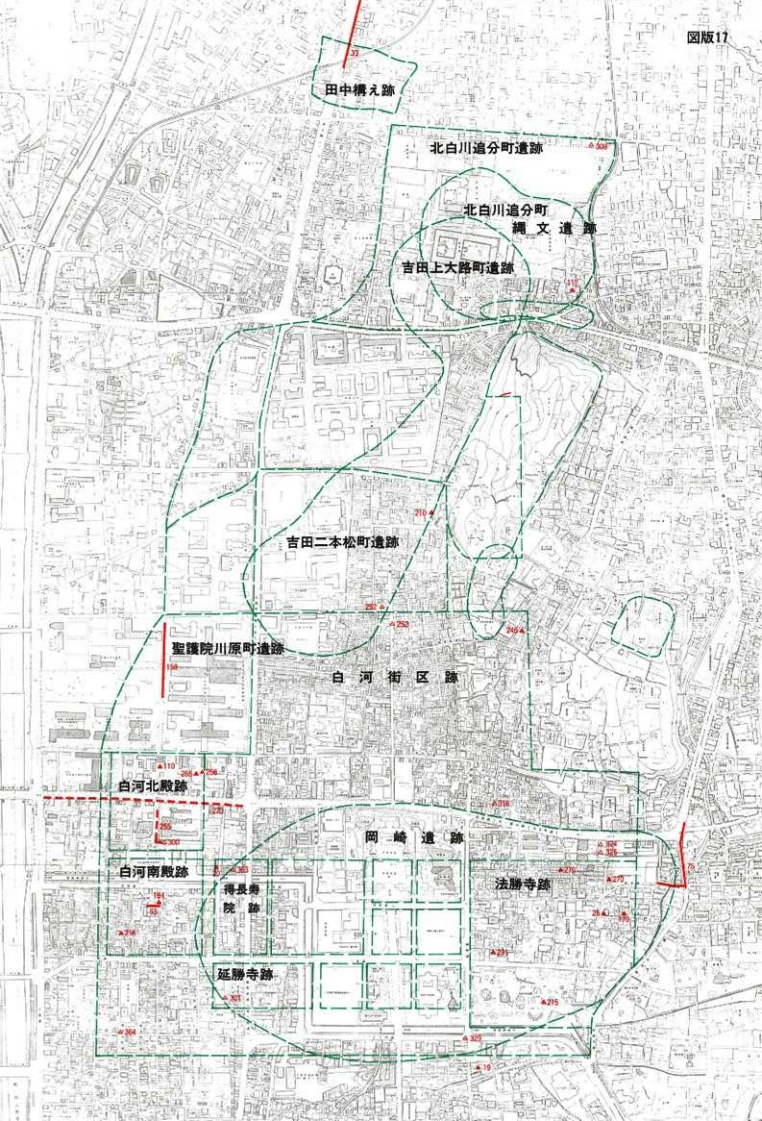
305











田中橋入跡

北白川追分町遺跡

北白川追分町  
綱文遺跡

吉田上大路町遺跡

吉田二本松町遺跡

聖護院川原町遺跡

白河街区跡

白河北殿跡

白河南殿跡

得長壽  
院跡

延勝寺跡

岡崎遺跡

法勝寺跡

33

△338

▲117

210

257

△250

264

156

▲110

264

△256

△255

△300

△236

▲76

△304

▲321

▲231

▲231

▲304

▲325

▲270

▲270

▲275

28.4

15

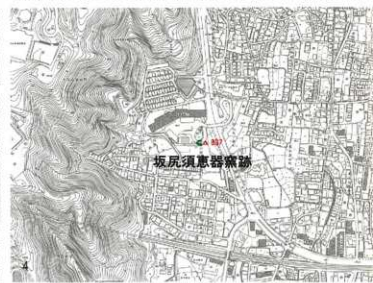
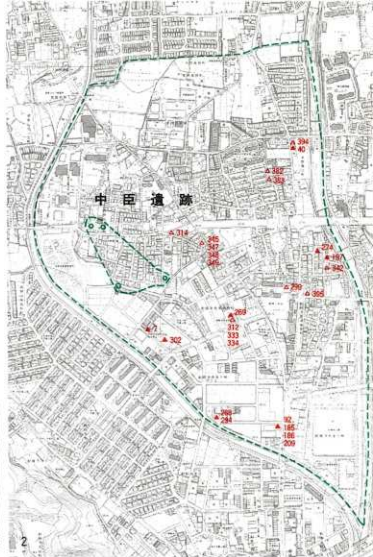
▲291

▲275

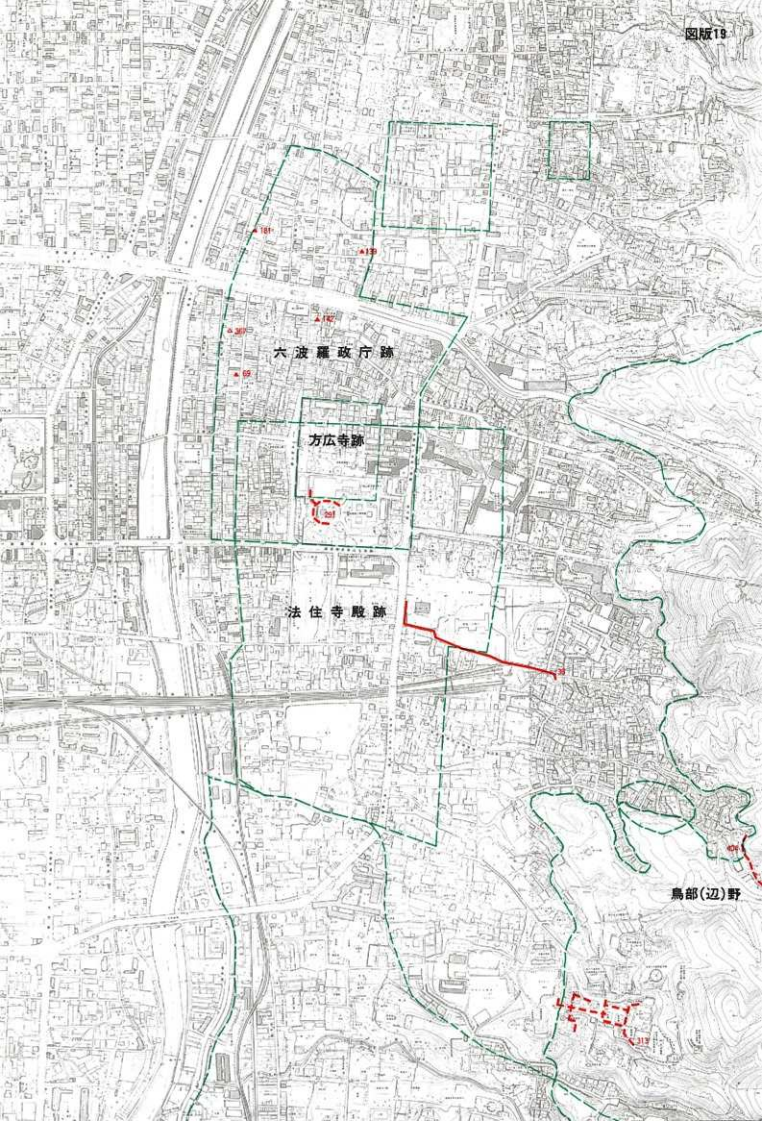
▲320

▲10

75





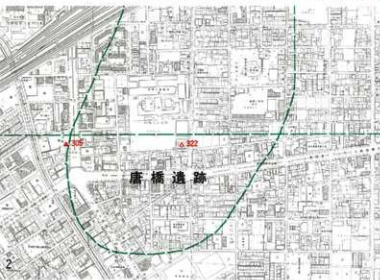


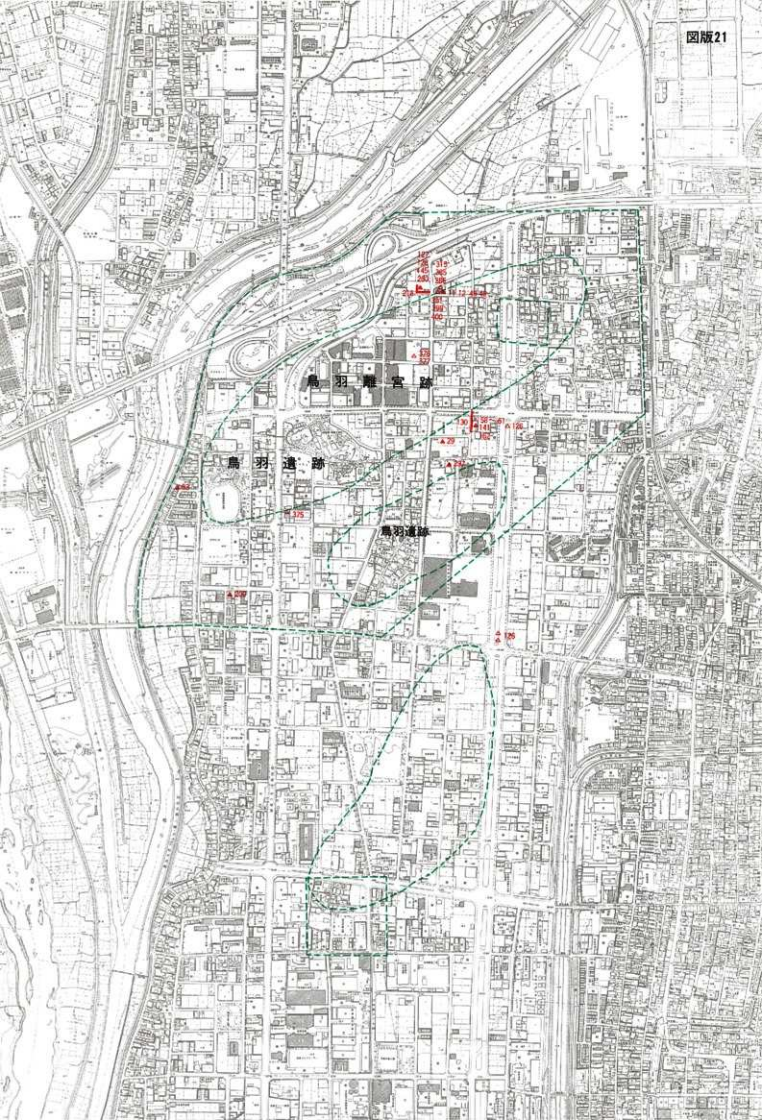
六波羅政庁跡

方広寺跡

法住寺殿跡

鳥部(辺)野





鳥羽離宮跡

鳥羽遺跡

鳥羽道路

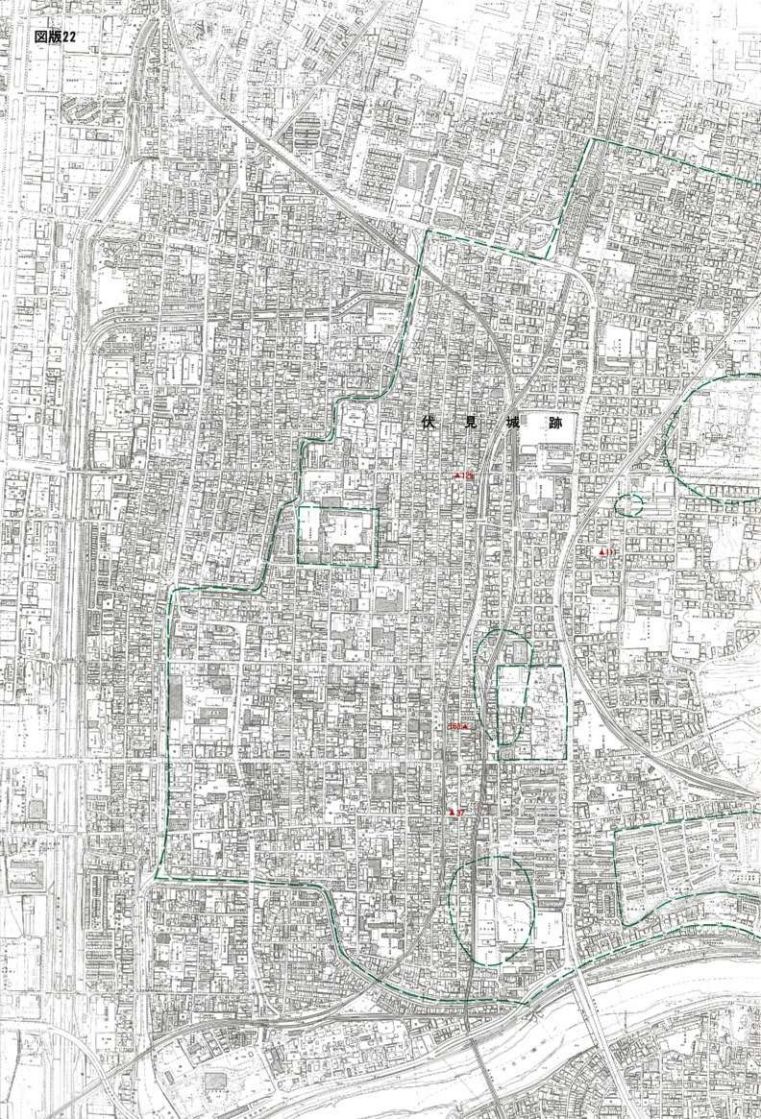
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

101  
102  
103  
104  
105  
106  
107  
108  
109  
110  
111  
112  
113  
114  
115  
116  
117  
118  
119  
120  
121  
122  
123  
124  
125  
126  
127  
128  
129  
130  
131  
132  
133  
134  
135  
136  
137  
138  
139  
140  
141  
142  
143  
144  
145  
146  
147  
148  
149  
150  
151  
152  
153  
154  
155  
156  
157  
158  
159  
160  
161  
162  
163  
164  
165  
166  
167  
168  
169  
170  
171  
172  
173  
174  
175  
176  
177  
178  
179  
180  
181  
182  
183  
184  
185  
186  
187  
188  
189  
190  
191  
192  
193  
194  
195  
196  
197  
198  
199  
200

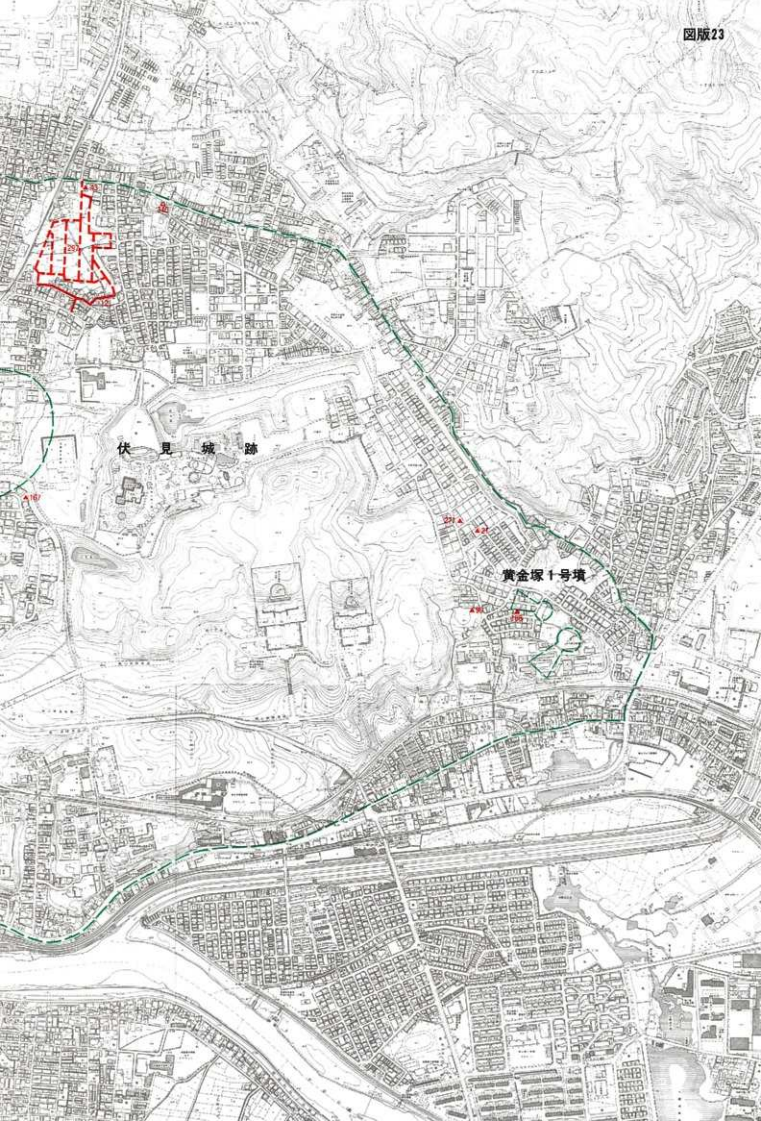
201  
202  
203  
204  
205  
206  
207  
208  
209  
210  
211  
212  
213  
214  
215  
216  
217  
218  
219  
220  
221  
222  
223  
224  
225  
226  
227  
228  
229  
230  
231  
232  
233  
234  
235  
236  
237  
238  
239  
240  
241  
242  
243  
244  
245  
246  
247  
248  
249  
250  
251  
252  
253  
254  
255  
256  
257  
258  
259  
260  
261  
262  
263  
264  
265  
266  
267  
268  
269  
270  
271  
272  
273  
274  
275  
276  
277  
278  
279  
280  
281  
282  
283  
284  
285  
286  
287  
288  
289  
290  
291  
292  
293  
294  
295  
296  
297  
298  
299  
300

301  
302  
303  
304  
305  
306  
307  
308  
309  
310  
311  
312  
313  
314  
315  
316  
317  
318  
319  
320  
321  
322  
323  
324  
325  
326  
327  
328  
329  
330  
331  
332  
333  
334  
335  
336  
337  
338  
339  
340  
341  
342  
343  
344  
345  
346  
347  
348  
349  
350  
351  
352  
353  
354  
355  
356  
357  
358  
359  
360  
361  
362  
363  
364  
365  
366  
367  
368  
369  
370  
371  
372  
373  
374  
375  
376  
377  
378  
379  
380  
381  
382  
383  
384  
385  
386  
387  
388  
389  
390  
391  
392  
393  
394  
395  
396  
397  
398  
399  
400

401  
402  
403  
404  
405  
406  
407  
408  
409  
410  
411  
412  
413  
414  
415  
416  
417  
418  
419  
420  
421  
422  
423  
424  
425  
426  
427  
428  
429  
430  
431  
432  
433  
434  
435  
436  
437  
438  
439  
440  
441  
442  
443  
444  
445  
446  
447  
448  
449  
450  
451  
452  
453  
454  
455  
456  
457  
458  
459  
460  
461  
462  
463  
464  
465  
466  
467  
468  
469  
470  
471  
472  
473  
474  
475  
476  
477  
478  
479  
480  
481  
482  
483  
484  
485  
486  
487  
488  
489  
490  
491  
492  
493  
494  
495  
496  
497  
498  
499  
500



伏見城跡



伏見城跡

黄金塚1号墳

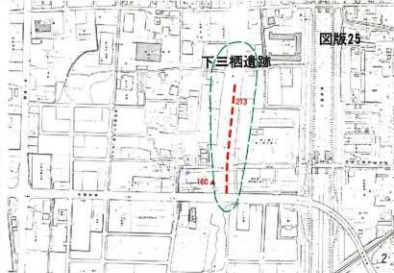


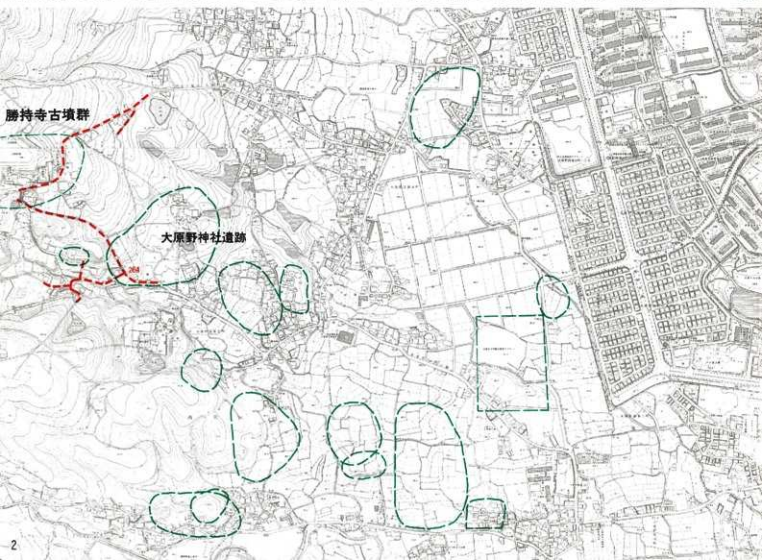
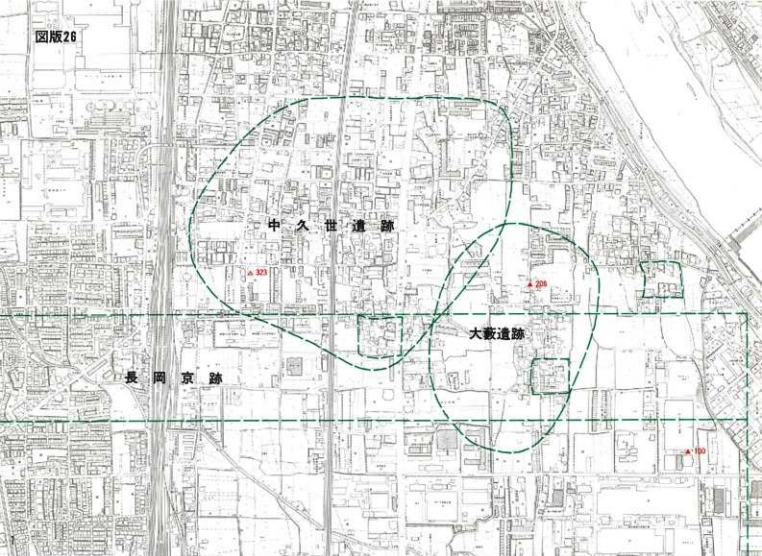
長岡京跡

久我東町遺跡

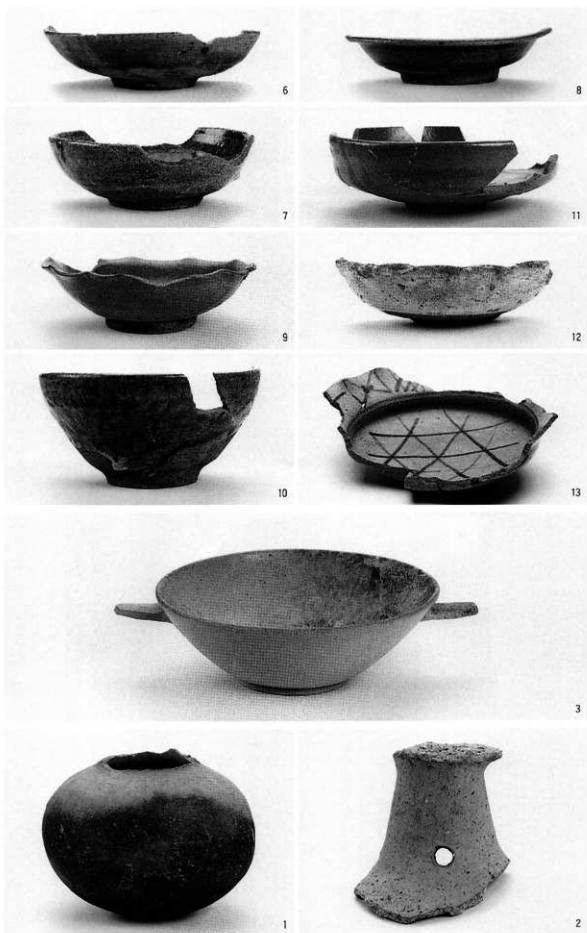
羽東師志水町遺跡











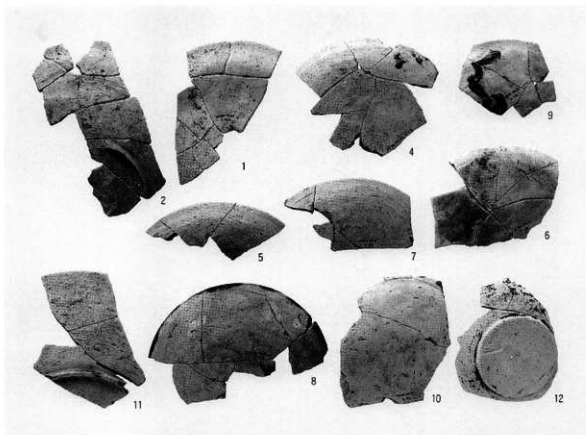
6～13 平安京左京三条四坊八町、等持寺跡 (02HL296)

3 平安京右京六条三坊七町、西院遺跡 (03HR39)

1・2 鳥羽離宮跡 (02TB126)



1 平安京左京六条二坊十町、烏丸綾小路遺跡 (03HL64)



2 平安京右京六条三坊七町、西院遺跡 (03HR39)

## 京都市内遺跡立会調査概報

平成15年度

発行日 2004年3月31日  
発行 京都市文化市民局  
住所 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488  
編集 財京都市遺産文化財研究所  
住所 京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町265-1  
TEL (075) 415-0521  
印刷 真 陽 社